https://www.tmn-anshin.co.jp/

投資型年金保険 アズユーライク You Like 多機能付変額個人年金保険GF



特別勘定レポート 2025年2月発行

最終ページには「ご負担いただく費用について」、「投資リスクについて」等が記載されておりますので、必ずご確認ください。

「投資型年金保険 アズユーライク」は東京海上日動あんしん生命保険株式会社の多機能付変額個人年金保険GFの商品名です。「投資型年金保険 アズユーライク」には専用の特別勘定グループが設定されています。



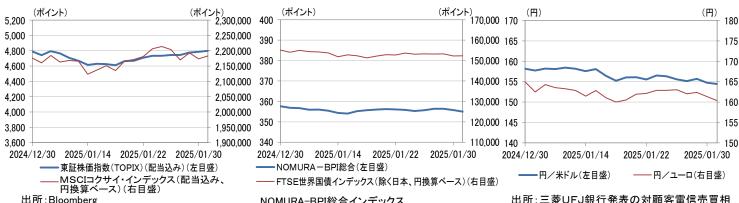
東京海上日動あんしん生命

■主要指数および為替市場の推移(直近1ヵ月間)

日本と外国の株式市場の推移

日本と外国の債券市場の推移

外国為替市場の推移



NOMURA-BPI総合インデックス 出所: NRI-IDS 出所:三菱UFJ銀行発表の対顧客電信売買相場の仲値

TTSE世界国債インデックス(除く日本、円換算ベース) 出所:Bloomberg

■市況動向

<国内株式>

当月の国内株式市況はほぼ横ばいとなりました。前半は半導体関連株が買われたことから上昇する局面もありましたが、米景気の底堅さを示す経済指標や日銀の利上げ観測などから長期金利が上昇したことなどを受け、国内株式市況は下落しました。月の後半は半導体関連株が下落したことから軟調となる場面もありましたが、米新政権の政策への期待感などを背景に株式市況は上昇し、前月末比ほぼ横ばいとなり月を終えました。

<海外株式>

当月の米国株式市況は上昇しました。昨年12月米消費者物価指数(CPI)が市場予想を下回ったことや米トランプ大統領就任日に署名された大統領令が 想定内だったことを受けて米インフレ懸念が後退した他、銀行中心に好調な企業決算を好感しました。下旬にかけては中国発AI「DeepSeek」の台頭で米 ハイテク企業の優位性に懐疑的な見方が生じるも、調整は一時的に留まり落ち着きを取り戻しました。

ドイツ株式市況は上昇しました。上旬に、米政権の関税政策が懸念されていたほど厳しいものにならない可能性が報じられると市場心理は改善しました。トランプ米大統領が就任初日での関税発動を見送ったことから、安心感は一段と広がりました。また、欧州中央銀行(ECB)が1月会合で利下げを決定するとの観測も株式市況を支えました。

<国内債券>

当月の国内長期金利は上昇しました。月前半、日銀の利上げ観測の高まりや米国金利の上昇を背景に国内長期金利は上昇し、その後も高水準で推移しました。月後半は、日銀が金融政策決定会合にて政策金利を引き上げることを決定した直後、長期金利はさらに上昇したものの、市場が利上げを織り込み済みだったことなどからその後はもみ合いとなりました。

<海外債券>

当月の米国長期金利は低下しました。昨年12月雇用統計等の堅調な景気指標を受け、長期金利は上昇しました。しかし、昨年12月消費者物価指数 (CPI)が市場予想を下回ったことはインフレ再加速を警戒する市場心理を和らげました。米トランプ大統領就任日に署名された大統領令が想定内だったことを受け、インフレ色の強いトランプ政権の政策を巡る懸念が後退したことも金利低下を促しました。

ドイツ長期金利は上昇しました。欧州主要国の物価・雇用等の経済指標を受けて、米欧中銀の利下げ余地がより限定的となるとの見方が強まりました。加えて米トランプ新政権の貿易・経済政策により、インフレ圧力が強まる可能性や財政が悪化する可能性も意識され、世界的に長期金利が上昇するなか、ドイツ長期金利も上昇しました。

<外国為替>

当月は、米ドルは対円で下落しました。昨年12月米消費者物価指数(CPI)が市場予想を下回ったことやトランプ大統領就任日に署名された大統領令が想定内だったことを受け、米金利低下が米ドル安に作用しました。日銀の追加利上げ決定や中国版生成AI「DeepSeek」ショックによる米ハイテク株安等もあり、米ドルは対円で下旬にかけて一段安となりました。

ユーロも対円で下落しました。欧州中央銀行(ECB)は利下げ継続の方針を維持も、利下げ幅拡大に慎重な姿勢を示しました。米トランプ大統領が就任初日での関税発動を見送ったことやユーロ圏の1月景況感指標が事前予想を上振れた一方で、日銀が1月金融政策決定会合で政策金利を引き上げたことから、ユーロは対円で下落しました。

※外国の株式・債券市場(グラフ・市況動向)は前日の指数で記載しております。なお、円換算ベースは前日の指数に当日のTTMを用いて算出しています。

・本資料は、三菱UFJアセットマネジメント株式会社が信頼できると判断した諸データに基づいて作成しましたが、その正確性、完全性を保証するものではありません。また、上記の実績・データ等は過去のものであり、今後の成果を保証・約束するものではありません。・市況の変動等により方針通りの運用が行われない場合があります。

特別勘定の内容

基本プランおよび年金原資加算プランの特別勘定

種類	特別勘定の名称	運用会社	投資対象となる投資信託	資産運用関係費用(年率) ^{*1}
株式型	日本株式TM		三菱UFJ トピックスインデックスファンドVA*	0.385%(税抜0.35%)程度
休八至	外国株式TM		三菱UFJ 外国株式ファンドVA*	0.495%(税抜0.45%)程度
債券型	日本債券TM		三菱UFJ 日本債券ファンドVA*	0.275%(税抜0.25%)程度
良 分主	外国債券TM	三菱UFJアセットマネジメント	三菱UFJ 外国債券ファンドVA*	0.385%(税抜0.35%)程度
		二叉0.07 271 (1777)	三菱UFJ トピックスインデックスファンドVA*	
	世界バランス30TM		三菱UFJ 外国株式ファンドVA*	0.363%(税抜0.33%)程度*2
	EstバノンスSOTM		三菱UFJ 日本債券ファンドVA*	0.303%(机放0.33%/程度
			三菱UFJ 外国債券ファンドVA*	
	バランス東海3県	東京海上アセットマネジメント	TMA東海3県日本株式VA*	
			TMA外国株式インデックスVA*	0.3762%(税抜0.342%)程度*2
総合型			TMA日本債券インデックスVA*	0.07 02%(4)是1次0.0年2%/4至/文
W 1 1			TMA外国債券インデックスVA*	
	バランス債券75TM		三菱UFJ トピックスインデックスファンドVA*	0.31625%(税抜0.2875%)程度 ^{*2}
	 バランス債券50TM		三菱UFJ 外国株式ファンドVA*	0.0575W/454+0.205W\4FF \cdot *2
			三菱UFJ 日本債券ファンドVA*	0.3575%(税抜0.325%)程度*2
	バランス20TM	三菱UFJアセットマネジメント	三菱UFJ MV20VA*	1.068%(税抜0.97%)程度*3
	バランス40TM		三菱UFJ MV40VA*	1.163%(税抜1.06%)程度 ^{*3}
	バランス80TM		三菱UFJ MV80VA*	1.352%(税抜1.23%)程度 ^{*3}
金融市場型	マネーTM		三菱 MRF(マネー・リザーブ・ファンド)	1.00%以内*4

年金原資保証プランの特別勘定

年金原資保証プランを選択した場合は、ご選択いただける特別勘定に制限があります。特別勘定間の積立金の移転(スイッチング)はできません。

	種類	特別勘定の名称	運用会社	投資対象となる投資信託	資産運用関係費用(年率) ^{*1}
20年未満の		世界バランス30TM	三菱UFJアセットマネジメント	三菱UFJ トピックスインデックスファンドVA* 三菱UFJ 外国株式ファンドVA* 三菱UFJ 日本債券ファンドVA* 三菱UFJ 外国債券ファンドVA*	0.363%(税抜0.33%)程度*2
未満の特別勘定別間が10年以上	総合型	バランス東海3県	東京海上アセットマネジメント	TMA東海3県日本株式VA* TMA外国株式インデックスVA* TMA日本債券インデックスVA* TMA外国債券インデックスVA*	0.3762%(税抜0.342%)程度*2
勘定上		バランス債券75TM	三菱UFJアセットマネジメント	三菱UFJ トピックスインデックスファンドVA* 三菱UFJ 外国株式ファンドVA* 三菱UFJ 日本債券ファンドVA*	0.31625%(税抜0.2875%)程度*2
◆運用の期		世界バランス30TM	三菱UFJアセットマネジメント	三菱UFJ トピックスインデックスファンドVA* 三菱UFJ 外国株式ファンドVA* 三菱UFJ 日本債券ファンドVA* 三菱UFJ 外国債券ファンドVA*	0.363%(税抜0.33%)程度*2
特間 勘2 定0	総合型	バランス東海3県	東京海上アセットマネジメント	TMA東海3県日本株式VA* TMA外国株式インデックスVA* TMA日本債券インデックスVA* TMA外国債券インデックスVA*	0.3762%(税抜0.342%)程度*2
年以上		バランス債券75TM	三菱UFJアセットマネジメント	三菱UFJ トピックスインデックスファンドVA*	0.31625%(税抜0.2875%)程度*2
上		バランス債券50TM	一変のの方でプドマネングプト	三菱UFJ 外国株式ファンドVA [*] 三菱UFJ 日本債券ファンドVA [*]	0.3575%(税抜0.325%)程度*2

*適格機関投資家限定

注意事項

- *1 資産運用関係費用は、主に利用する投資信託の信託報酬率を記載しています。信託報酬の他、監査報酬、信託事務の諸費用、有価証券の売買委託手数料および消費税等の税金等がかかりますが、費用の発生前に金額や計算方法を確定することが困難なため表示することができません。また、これらの費用は投資信託の純資産総額より差し引かれます。したがって、ご契約者さまはこれらの費用を間接的に負担することになります。なお、資産運用関係費用は、運用手法の変更等により将来変更される可能性があります。
- *2 主な投資対象とする投資信託の信託報酬率を基本配分比率で加重平均した概算値です。
- *3 三菱UFJ MV20VA/40VA/80VAはファンド・オブ・ファンズのため、信託報酬は以下のようになります。
 - 三菱UFJ MV20VA(年率0.2805%(税抜0.255%))が投資する投資信託証券を含めた場合、合計 年率1.06843%(税抜0.9713%)程度
 - 三菱UFJ MV40VA(年率0.2805%(税抜0.255%))が投資する投資信託証券を含めた場合、合計 年率1.16303%(税抜1.0573%)程度
 - 三菱UFJ MV80VA(年率0.2805%(税抜0.255%))が投資する投資信託証券を含めた場合、合計 年率1.35223%(税抜1.2293%)程度
- *4 三菱MRFについては、信託報酬は以下のようになります。
 - 信託元本の額に、年率1%以内で以下に掲げる率(以下「信託報酬率」といいます)を乗じて得た額とします。
- ① 各週の最初の営業日から翌週以降の最初の営業日の前日までの毎計算期にかかる信託報酬率は、当該各週の最初の営業日の前日までの7日間の元本1万口あたりの収益分配金合計額の年換算収益分配率に0.11を乗じて得た率以内の率とします。ただし、当該率が年率0.22%以下の場合には年率0.22%以内の率とします。
- ② 上記にかかわらず、当該信託の日々の基準価額算出に用いるコール・ローンのオーバーナイト物レート(以下「コール・レート」といいます)が、0.4%未満の場合の信託報酬率は、当該コール・レートに0.5を乗じて得た率以内とします。

●特別勘定 純資産総額の内訳

		運用	資產	重			資産配分		公
特別勘定の名称	株日本	式 外国	日本	外国	投資対象となる投資信託	運用会社	有価 証券等	現預金その他	純資産 総額 (百万円)
日本株式TM	•				三菱UFJトピックスインデックスファンド VA*		97.3%	2.7%	123
外国株式TM		•			三菱UFJ外国株式ファンドVA*		97.0%	3.0%	24
日本債券TM			•		三菱UFJ 日本債券ファンドVA*		97.3%	2.7%	1
外国債券TM				•	三菱UFJ外国債券ファンドVA*	三菱UFJアセット	96.8%	3.2%	12
バランス 20TM	•	•	•	•	三菱UFJ MV 20VA *	マネジメント	97.9%	2.1%	0
バランス 40TM	•	•	•	•	三菱UFJ MV 40VA *		98.2%	1.8%	1
バランス 80TM	•	•	•	•	三菱UFJ MV 80VA *		98.2%	1.8%	5
マネー TM			•		三菱 MRF(マネー・リザーブ・ファンド)		79.7%	20.3%	79

^{*} 適格機関投資家限定

		運用	資產	Ē			資産	2分		
特別勘定の名称	株日本	式外国	債日本	券 外 国	投資対象となる投資信託	運用会社	資産額 (百万円)	配分	純資産 総額 (百万円)	
	•		*	121	三菱UFJトピックスインデックスファンドVA*		44	15.1%		
		•			三菱UFJ外国株式ファンドVA*	ー 三菱UFJアセット	44	15.2%		
世界バランス30TM			•		三菱UFJ日本債券ファンドVA*	マネジメント	87	30.1%	291	
				•	三菱UFJ外国債券ファンドVA*		100	34.6%		
					現預金その他	_	14	5.1%		
	•				TMA東海3県日本株式VA*		8	15.1%	55	
		•			TMA 外国株式インデックス VA*	東京海上アセット	8	15.3%		
バランス東海3県			•		TMA 日本債券インデックス VA*	マネジメント	16	30.1%		
				•	TMA 外国債券インデックス VA*		19	34.9%		
					現預金その他	_	2	4.6%		
	•			-	三菱UFJトピックスインデックスファンド VA*		2	12.7%		
バランス債券75TM		•		-	三菱 UFJ 外国株式ファンド VA*	三菱UFJアセット マネジメント	2	12.8%	20	
バリンハ良分 / J T W			•	-	三菱 UFJ 日本債券ファンド VA*		14	69.9%	20	
					現預金その他	_	0	4.6%		
	•			-	三菱UFJトピックスインデックスファンド VA*	_ = = - = .	41	25.3%		
バランス債券50TM		•		-	三菱UFJ外国株式ファンドVA*	三菱UFJアセット マネジメント	40	25.0%	163	
・・ノンハ良勿·00 TW			•	-	三菱 UFJ 日本債券ファンド VA*		73	44.8%		
					現預金その他	_	7	4.9%		

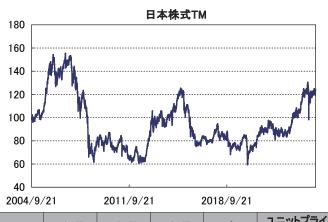
^{*} 適格機関投資家限定

- ・投資型年金保険 アズユーライク (多機能付変額個人年金保険 GF) は特別勘定で運用を行う商品です。特別勘定は投資信託を主な投資対象としていますが、 当商品は投資信託とは異なる商品です。また、当資料に掲載されている投資信託の開示情報はあくまでも参考情報であり、ご契約者が直接投資信託を保有する ものではありません。
- ・当資料は、生命保険契約の募集および当該投資信託の勧誘を目的としたものではありません。 ・特別勘定が用いる投資信託の値動きは、特別勘定のユニットプライスの値動きとは異なります。ユニットプライス算出のためには、組入ファンドの損益に、保険契約の異動等に備えたキャッシュ・ポジション部分の損益、保険関係費用等を加味する必要があります。
- ・当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

特別勘定の運用方針

特別勘定の名称			ļ	運用方針				
日本株式TM	主に日本の株式に投 式の価格変動リスク			(配当込み)に	:連動する投資	依果を目指し)ます。日本株	
外国株式TM	動する投資成果の獲	に日本を除く世界主要国の株式に投資し、MSCIコクサイ・インデックス(配当込み、円換算ベース)に連する投資成果の獲得を目指します。外貨建資産については原則として為替ヘッジを行いません。世界株の価格変動リスク、為替変動リスク等があります。						
日本債券TM	主に日本の公社債に合指数)に連動する指					-		
外国債券TM	主に日本を除く世界 連動する投資成果の 金利変動リスク、為を	獲得を目指し	ます。外貨建立	資産について				
世界バランス30TM	国内外の株式および 的な資産の成長を目 国株式15%、日本債券 為替変動リスク、信用	指します。原貝 (短期金融資	川として為替へ 産を含む)35%	ッジは行いませ	せん。基本資産	全配分は、日2	卜株式15%、外	
バランス東海3県	国内外の株式および 的な資産の成長を目 国株式15%、日本債券 知、岐阜、三重)に本	指します。原貝 (短期金融資	川として為替へ 産を含む)35%	ッジは行いまっ 、外国債券35	せん。基本資産 %です。日本株	全配分は、日本 式については	k株式15%、外 、東海3県(愛	
バランス債券75TM	国内外の株式および 長期的な資産の成長 12.5%、外国株式12.59 変動リスク、信用リス	を目指します。 6、日本債券(対	。原則として為 豆期金融資産	替ヘッジは行	いません。基本	ト資産配分は	、日本株式	
バランス債券50TM	国内外の株式および 長期的な資産の成長 25%、外国株式25% 変動リスク、信用リス	を目指します。 、日本債券(短	。原則として為 期金融資産を	替ヘッジは行	いません。基本	ト資産配分は	、日本株式	
バランス20TM	日本を含む世界各国す。)を主要投資対象 ることを目標とし、運用対象である投資信託 利変動リスク、為替変	とする投資信 用にあたってに 証券は、ラッセ	託証券に投資 は合成ベンチマ !ル・インベスト	し、リスクの軽 ークを上回る メント株式会社	を減に努めつつ 投資成果の獲	中長期的に清 得を目指しま	情実な成長を図 す。主要投資	
バランス40TM	<基準となる資	産構成比>			T		,	
		日本株式	外国株式	日本債券*	外国債券 (為替ヘッジあり)	外国債券 (為替ヘッジなし)]	
	バランス20TM	15%	5%	40%	35%	5%	4	
バランス80TM	バランス40TM バランス80TM	30% 55%	10% 25%	30% 10%	25% 5%	5% 5%	1	
7777001111	*短期金融資産		20/0	10/0	J 5/0	J 5/0	1	
マネーTM	主に信用度が高く残る安定した収益の確保						ることによって、	

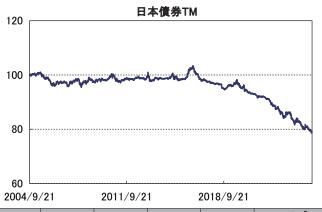
- ・投資型年金保険 アズユーライク(多機能付変額個人年金保険GF)は特別勘定で運用を行う商品です。特別勘定は投資信託を主な投資対象としていますが、 当商品は投資信託とは異なる商品です。また、当資料に掲載されている投資信託の開示情報はあくまでも参考情報であり、ご契約者が直接投資信託を保有 するものではありません。
- ・当資料は、生命保険契約の募集および当該投資信託の勧誘を目的としたものではありません。 ・特別勘定が用いる投資信託の値動きは、特別勘定のユニットプライスの値動きとは異なります。ユニットプライス算出のためには、組入ファンドの損益に、 保険契約の異動等に備えたキャッシュ・ポジション部分の損益、保険関係費用等を加味する必要があります。
- ・当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。



2004/9/21		2011/9/2	1 .	2018/9/21	
期間	1か月	3か月	6か月	1年	ユニットプライス 2025年1月末現在
収益率	-0.03%	3.00%	-0.23%	8.92%	124.19



期間	1か月	3か月	6か月	1年	ユニットプライス 2025年1月末現在
収益率	0.03%	4.22%	10.73%	23.22%	509.02



2004/ 3/ 21		2011/3/2	•	2010/ 3/ 21			
期間	1か月	3か月	6か月	1年	ユニットプライス 2025年1月末現在		
収益率	-0.88%	-1.97%	-1.54%	-4.73%	78.76		



期間	1か月	3か月	6か月	1年	ユニットプライス 2025年1月末現在
収益率	-2.13%	-1.51%	-0.36%	3.18%	142.93



期間	1か月	3か月	6か月	1年	ユニットプライス 2025年1月末現在
収益率	-1.06%	-0.08%	0.97%	4.50%	164.39



期間	1か月	3か月	6か月	1年	ユニットプライス 2025年1月末現在	
収益率	-1.38%	-0.11%	0.28%	2.58%	149.33	

- ※ ユニットプライスは小数点第3位以下を切り捨てて表示しています。期間収益率は、小数点第3位を四捨五入しています。
- ※ ユニットプライス(単位価格)とは、各特別勘定資産の積立金の1ユニット(単位)に対する価格のことをいい、特別勘定資産の評価を 反映しています。
- ・投資型年金保険 アズユーライク(多機能付変額個人年金保険 GF)は特別勘定で運用を行う商品です。特別勘定は投資信託を主な投資対象としていますが、 当商品は投資信託とは異なる商品です。また、当資料に掲載されている投資信託の開示情報はあくまでも参考情報であり、ご契約者が直接投資信託を保有する ものではありません。
- ・当資料は、生命保険契約の募集および当該投資信託の勧誘を目的としたものではありません。
 ・特別勘定が用いる投資信託の値動きは、特別勘定のユニットプライスの値動きとは異なります。ユニットプライス算出のためには、組入ファンドの損益に、保険契約の異動等に備えたキャッシュ・ポジション部分の損益、保険関係費用等を加味する必要があります。
- ・当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。



期間	1か月	3か月	6か月	1年	ユニットプライス 2025年1月末現在
収益率	-0.63%	-0.52%	0.24%	0.54%	127.32



期間	1か月	3か月	6か月	1年	ユニットプライス 2025年1月末現在
収益率	-0.41%	0.92%	1.96%	5.90%	191.07



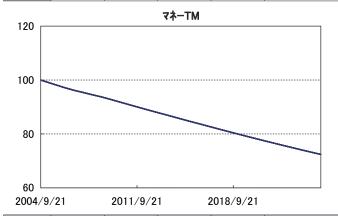
期間	1か月	3か月	6か月	1年	ユニットプライス 2025年1月末現在	
収益率	-0.37%	-0.77%	-1.22%	-0.96%	111.31	



期間	1か月	3か月	6か月	1年	ユニットプライス 2025年1月末現在
収益率	-0.46%	0.10%	-0.19%	3.01%	149.16



期間	1か月	3か月	6か月	1年	ユニットプライス 2025年1月末現在
収益率	0.04%	3.41%	-0.19%	8.35%	254.63



期間	1か月	3か月	6か月	1年	ユニットプライス 2025年1月末現在
収益率	-0.12%	-0.37%	-0.77%	-1.58%	72.43

- ※ ユニットプライスは小数点第3位以下を切り捨てて表示しています。期間収益率は、小数点第3位を四捨五入しています。
- ※ ユニットプライス(単位価格)とは、各特別勘定資産の積立金の1ユニット(単位)に対する価格のことをいい、特別勘定資産の評価を 反映しています。
- ・投資型年金保険 アズユーライク (多機能付変額個人年金保険 GF) は特別勘定で運用を行う商品です。特別勘定は投資信託を主な投資対象としていますが、 当商品は投資信託とは異なる商品です。また、当資料に掲載されている投資信託の開示情報はあくまでも参考情報であり、ご契約者が直接投資信託を保有する ものではありません。
- ・当資料は、生命保険契約の募集および当該投資信託の勧誘を目的としたものではありません。
- ・特別勘定が用いる投資信託の値動きは、特別勘定のユニットプライスの値動きとは異なります。ユニットプライス算出のためには、組入ファンドの損益に、保険契約の異動等に備えたキャッシュ・ポジション部分の損益、保険関係費用等を加味する必要があります。
- ・当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

三菱UFJ トピックスインデックスファンドVA(適格機関投資家限定)

・投資型年金保険 アズユーライク(多機能付変額個人年金保険GF)は特別勘定で運用を行う商品です。特別勘定は投資信託を主な投資対象としていますが、当商品は投 資信託とは異なる商品です。

また、当資料に掲載されている投資信託の開示情報はあくまでも参考情報であり、ご契約者が直接投資信託を保有するものではありません。

- ・当資料は、生命保険契約の募集および当該投資信託の勧誘を目的としたものではありません。
- ・特別勘定が用いる投資信託の値動きは、特別勘定のユニットプライスの値動きとは異なります。ユニットプライス算出のためには、組み入れファンドの損益に、保険契約の 異動等に備えたキャッシュ・ポジション部分の損益、保険関係費用等を加味する必要があります。
- ・当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。
- ・当資料は、三菱UFJアセットマネジメント株式会社による運用報告を、東京海上日動あんしん生命保険株式会社より提供するものであり、当資料の内容に関して、東京海 上日動あんしん生命保険株式会社は一切責任を負いません。

■商品概要

主要投資対象	TOPIXマザーファンド受益証券(日本の株式に直接投資することもあります。)
運用方針	①TOPIXマザーファンド受益証券を主要投資対象とし、ベンチマーク(東証株価指数(TOPIX)(配当込み))に連動する投資成果を目指して運用を行います。 ②TOPIXマザーファンドは、日本の株式を主要投資対象とします。 ③主にTOPIXマザーファンド受益証券に投資しますが、日本の株式に直接投資することもあります。 ④株式以外への資産の投資は、原則として信託財産総額の50%以下とします。
設定日	2002年9月4日
信託期間	無期限
決算日	毎年2月20日(休業日の場合、翌営業日)
信託報酬	純資産総額に対し、年率0.385%(税抗 年率0.35%)

■基準価額および純資産総額の推移



- ・基準価額、基準価額(分配金再投資)は、運用管理費用(信託報酬)控除後の値です。・基準価額(分配金再投資)は、分配金(税引前)を再投資したものとして計算しています。
- ・ベンチマークは、設定日を10,000として指数化しています。

■騰落率

	過去1ヵ月	過去3ヵ月	過去6ヵ月	過去1年	過去3年	設定来
ファンド	0.1%	3.5%	0.8%	11.5%	56.8%	348.6%
ベンチマーク	0.1%	3.6%	1.0%	11.9%	58.6%	386.3%
				A		

- ・実際のファンドでは、課税条件によってお客さまごとの騰落率は異なります。 また、換金時の費用・税金等は考慮していません。 ・設定来のファンドの騰落率は、10,000を起点として計算しています。 ・分配金実績がある場合は、分配金(税引前)を再投資したものとして計算しています。

■基準価額および純資産総額

基準価額(1万口当たり)	41,822円
前月末比	+46円
純資産総額	104.24億円
前月末比	-4.11億円

■分配金実績(1万口当たり、税引前)

決算期	決算日	分配金
第22期	2024/02/20	0円
第21期	2023/02/20	0円
第20期	2022/02/21	0円
第19期	2021/02/22	0円
第18期	2020/02/20	0円
第17期	2019/02/20	0円
設定来累計		1,000円

■資産構成

	比率
実質国内株式	99.9%
内 現物	99.5%
内 先物	0.4%
コールローン他	0.1%

■組入上付10業種

_ ~			
	業種	比率	ベンチマーク 構成比
1	電気機器	17.7%	17.8%
2	銀行業	9.0%	9.1%
3	情報•通信業	7.5%	7.6%
4	輸送用機器	7.5%	7.6%
5	卸売業	6.5%	6.5%
6	機械	5.6%	5.6%
7	サービス業	5.2%	5.2%
8	化学	4.9%	4.9%
9	小売業	4.6%	4.6%
10	医薬品	4.2%	4.3%

■組入上位10銘柄

組入銘柄数: 1,697銘柄

銘柄	業種	比率	ベンチマーク 構成比
1 トヨタ自動車	輸送用機器	4.0%	4.0%
2 三菱UFJフィナンシャル・グループ	銀行業	3.1%	3.1%
3 ソニーグループ	電気機器	3.0%	3.0%
4 日立製作所	電気機器	2.6%	2.6%
5 リクルートホールディングス	サービス業	2.2%	2.2%
6 三井住友フィナンシャルグループ	銀行業	2.0%	2.0%
7 キーエンス	電気機器	1.7%	1.7%
8 任天堂	その他製品	1.6%	1.6%
9 みずほフィナンシャルグループ	銀行業	1.4%	1.4%
10 東京エレクトロン	電気機器	1.4%	1.4%

・本資料は、三菱UFJアセットマネジメント株式会社が信頼できると判断した諸データに基づいて作成しましたが、その正確性、完全性を保証するものではありません。また、上記の実績・データ等は過去のものであり、今後の成果を保証・約束するものではありません。・表示桁未満の数値がある場合、四捨五入しています。・原則として、比率は純資産総額に対する割合です。・コールローン他は未収・未払項目が含まれるため、マイナスとなる場合があります。・業種は、東証33業種で分類しています。・東証株価指数(TOPIX)(配当込み)とは、日本の株式市場を広範に網羅するとともに、投資対象としての機能性を有するマーケット・ベンチマークで、浮動株ベースの時価総額加重方式により算出される株価指数です。TOPIXの指数値及びTOPIXに係る標章又は商標は、株式会社JPX総研又は株式会社JPX総研の関連会社(以下「JPX」という。)の知的財産であり、指数の算出、指数値の公表、利用などTOPIXに関するすべての権利・ノウハウ及びTOPIXに係る標章又は商標に関するすべての権利はJPXが有します。

三菱UFJ 外国株式ファンドVA(適格機関投資家限定)

・投資型年金保険 アズユーライク(多機能付変額個人年金保険GF)は特別勘定で運用を行う商品です。特別勘定は投資信託を主な投資対象としていますが、当商品は投 資信託とは異なる商品です。

また、当資料に掲載されている投資信託の開示情報はあくまでも参考情報であり、ご契約者が直接投資信託を保有するものではありません。

- ・当資料は、生命保険契約の募集および当該投資信託の勧誘を目的としたものではありません。
- ・特別勘定が用いる投資信託の値動きは、特別勘定のユニットプライスの値動きとは異なります。ユニットプライス算出のためには、組み入れファンドの損益に、保険契約の 異動等に備えたキャッシュ・ポジション部分の損益、保険関係費用等を加味する必要があります。
- ・当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。
- ・当資料は、三菱UFJアセットマネジメント株式会社による運用報告を、東京海上日動あんしん生命保険株式会社より提供するものであり、当資料の内容に関して、東京海 上日動あんしん生命保険株式会社は一切責任を負いません

■商品概要

主要投資対象	外国株式インデックスマザーファンド受益証券(外国の株式に直接投資することもあります。)
	①外国株式インデックスマザーファンド受益証券を主要投資対象とし、ベンチマーク(MSCIコクサイ・インデックス(配当込み、円換算ベース))に連動する投資成果を目指して運用を行
	います。
運用方針	②外国株式インデックスマザーファンドは、日本を除く世界主要国の株式を主要投資対象とします。
	③日本を除く世界主要国の株式に直接投資することもできます。
	④外貨建資産については原則として為替ヘッジを行いません。ただし、市況動向等の判断により、為替ヘッジを行う場合があります。
設定日	2002年9月4日
信託期間	無期限
決算日	毎年2月20日(休業日の場合、翌営業日)
信託報酬	純資産総額に対し、年率0.495%(税抜 年率0.45%)

■基準価額および純資産総額の推移



ベンチマーク【左目盛】

- ・基準価額、基準価額(分配金再投資)は、運用管理費用(信託報酬)控除後の値です
- ・基準価額(分配金再投資)は、分配金(税引前)を再投資したものとして計算しています。 ・ベンチマークは、設定日を10,000として指数化しています。

■騰落率

	過去1ヵ月	過去3ヵ月	過去6ヵ月	過去1年	過去3年	設定来
ファンド	0.2%	4.7%	11.9%	26.7%	79.6%	841.6%
ベンチマーク	0.3%	4.9%	12.2%	27.3%	81.2%	934.9%

- ・実際のファンドでは、課税条件によってお客さまごとの騰落率は異なります。 また、換金時の費用・税金等は考慮していません。 ・設定来のファンドの騰落率は、10,000を起点として計算しています。

- ・分配金実績がある場合は、分配金(税引前)を再投資したものとして計算しています。

■基準価額および純資産総額

基準価額(1万口当たり) 88,535円
前月末比	+157円
純資産総額	67.83億円
前月末比	-1.60億円

■分配金実績(1万口当たり、税引前)

	,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	A 150 9 1 13-37
決算期	決算日	分配金
第22期	2024/02/20	0円
第21期	2023/02/20	0円
第20期	2022/02/21	0円
第19期	2021/02/22	0円
第18期	2020/02/20	0円
第17期	2019/02/20	0円
設定来累計		1,000円

■資産構成

	比率
実質外国株式	100.0%
内 現物	98.8%
内 先物	1.2%
コールローン他	0.0%

■組入上位10ヵ国・地域

国•地域	比率
1 アメリカ	77.2%
2 イギリス	3.6%
3 カナダ	3.1%
4 フランス	2.7%
5 スイス	2.4%
6 ドイツ	2.3%
7 オーストラリア	1.8%
8 オランダ	1.1%
9 スウェーデン	0.8%
10 イタリア	0.7%
	組入銘柄数·

■組入上位10業種

 業種	比率
1 ソフトウェア・サービス	10.0%
2 半導体・半導体製造装置	8.5%
3 金融サ <i>―</i> ビス	7.5%
4 メディア・娯楽	7.3%
5 資本財	7.0%
6 テクノロジ・ハードウェア・機器	6.7%
7 医薬品・バイオテクノ・ライフ	6.7%
8 銀行	5.9%
9 一般消費財・サービス流通・小売り	5.3%
10 ヘルスケア機器・サービス	3.9%

■組入上位10銘柄

組入銘柄数: 1,204銘柄

			1-1-1-11	
銘柄	国•地域	業種	比率	ベンチマーク 構成比
1 APPLE INC	アメリカ	テクノロジ・ハードウェア・機器	5.2%	5.3%
2 NVIDIA CORP	アメリカ	半導体・半導体製造装置	4.4%	4.4%
3 MICROSOFT CORP	アメリカ	ソフトウェア・サービス	4.2%	4.3%
4 AMAZON.COM INC	アメリカ	一般消費財・サービス流通・小売り	3.2%	3.2%
5 META PLATFORMS INC-CLASS A	アメリカ	メディア・娯楽	2.2%	2.2%
6 ALPHABET INC-CL A	アメリカ	メディア・娯楽	1.7%	1.7%
7 TESLA INC	アメリカ	自動車・自動車部品	1.7%	1.7%
8 ALPHABET INC-CL C	アメリカ	メディア・娯楽	1.5%	1.5%
9 BROADCOM INC	アメリカ	半導体・半導体製造装置	1.4%	1.4%
10 JPMORGAN CHASE & CO	アメリカ	銀行	1.1%	1.1%

・本資料は、三菱UFJアセットマネジメント株式会社が信頼できると判断した諸データに基づいて作成しましたが、その正確性、完全性を保証するものではありません。また、上記の実績・データ等は過去のものであり、今後の成果を保証・約束するものではありません。・表示析未満の数値がある場合、四捨五入しています。・原則として、比率は純資産総額に対する割合です。・コールローン他は未収・未払項目が含まれるため、マイナスとなる場合があります。・REITの組み入れがある場合、REITは株式に含めて表示しています。・国・地域は原則、主要取引所所在地で分類しています。・業種は、GICS(世界産業分類基準)で分類しています。・MSCIコクサイ・インデックス(配当込み)とは、MSCI Inc.が開発した株価指数で、日本を除く世界の先進国で構成されています。MSCIコクサイ・インデックス(配当込み、円換算ベース)は、MSCIコクサイ・インデックス(配当込み、米ドルベース)をもとに、委託会社が計算したものです。また、MSCIコクサイ・インデックスに対する著作権及びその他知的財産権はすべてMSCI Inc.に帰属します。・Global Industry Classification Standard ("GICS")は、MSCI Inc.とS&P(Standard & Poor's)が開発した業種分類です。GICSに関する知的財産所有権はMSCI Inc.およびS&Pに帰属します。

三菱UFJ 日本債券ファンドVA (適格機関投資家限定)

- 投資型年金保険 アズユーライク(多機能付変額個人年金保険GF)は特別勘定で運用を行う商品です。特別勘定は投資信託を主な投資対象としていますが、当商品は投 資信託とは異なる商品です。
- また、当資料に掲載されている投資信託の開示情報はあくまでも参考情報であり、ご契約者が直接投資信託を保有するものではありません。
- ・当資料は、生命保険契約の募集および当該投資信託の勧誘を目的としたものではありません。
- ・特別勘定が用いる投資信託の値動きは、特別勘定のユニットプライスの値動きとは異なります。ユニットプライス算出のためには、組み入れファンドの損益に、保険契約の 異動等に備えたキャッシュ・ポジション部分の損益、保険関係費用等を加味する必要があります
- ・当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。
- ・当資料は、三菱UFJアセットマネジメント株式会社による運用報告を、東京海上日動あんしん生命保険株式会社より提供するものであり、当資料の内容に関して、東京海 上日動あんしん生命保険株式会社は一切責任を負いません。

■商品概要

日本債券インデックスマザーファンド受益証券(日本の公社債に直接投資することもあります。) 主要投資対象

①日本債券インデックスマザーファンド受益証券を主要投資対象とし、ベンチマーク(NOMURA—BPI総合指数)に連動する投資成果を目指して運用を行います。

②日本債券インデックスマザーファンドは、日本の公社債を主要投資対象とします。 運用方針

③日本の公社債に直接投資することもできます。

2002年9月4日 設定日 信託期間 無期限 毎年2月20日(休業日の場合、翌営業日) 決算日 信託報酬 純資産総額に対し、年率0.275%(税抜 年率0.25%)

■基準価額および純資産総額の推移



- 基準価額(分配金再投資)【左目盛】
- ベンチマーク【左日盛】
- ・基準価額、基準価額(分配金再投資)は、運用管理費用(信託報酬)控除後の値です。 ・基準価額(分配金再投資)は、分配金(税引前)を再投資したものとして計算しています。 ・ベンチマークは、設定日を10,000として指数化しています。
- -クは、設定日を10,000として指数化しています。

|騰落率

	過去1ヵ月	過去3ヵ月	過去6ヵ月	過去1年	過去3年	設定来
ファンド	-0.8%	-1.6%	-0.7%	-3.2%	-8.3%	13.9%
ベンチマーク	-0.7%	-1.5%	-0.6%	-2.9%	-7.6%	21.5%

- ・実際のファンドでは、課税条件によってお客さまごとの騰落率は異なります。
- また、換金時の費用・税金等は考慮していません。 ・設定来のファンドの騰落率は、10,000を起点として計算しています
- ・分配金実績がある場合は、分配金(税引前)を再投資したものとして計算しています。

■債券格付分布

格付種類	比率
AAA格	1.4%
AA格	2.9%
A格	95.1%
BBB格	0.1%
BB格以下	0.0%
無格付	0.0%
■種別組入比率	

	•
種別	比率
国債	83.8%
地方債	5.7%
政府保証債	1.2%
金融債	0.3%
事業債	6.7%
円建外債	0.4%
MBS	1.4%
ABS	0.1%

■残存期間別組入比率

残存期間	比率	ベンチマーク 構成比
3年未満	20.8%	21.0%
3~7年	28.5%	28.4%
7~11年	18.9%	19.2%
11年超	31.3%	31.4%

3十个個	20.6/0	21.0/0
3~7年	28.5%	28.4%
7~11年	18.9%	19.2%
11年超	31.3%	31.4%
■組入上位10	名柄	
	 銘柄	
1 第140回到付	-国信(6年)	

■基準価額および純資産総額

基準価額(1万口当たり)	11,379円
前月末比	-87円
純資産総額	56.18億円
前月末比	-2.30億円

■分配金実績(1万口当たり、税引前)

決算期	決算日	分配金
第22期	2024/02/20	0円
第21期	2023/02/20	0円
第20期	2022/02/21	0円
第19期	2021/02/22	0円
第18期	2020/02/20	0円
第17期	2019/02/20	0円
設定来累計		10円

■資産構成

	比率
実質国内債券	99.9%
内 現物	99.6%
内 先物	0.3%
コールローン他	0.1%

■ポートフォリオ特性

	当月末
最終利回り	1.2%
直接利回り	0.8%
デュレーション	8.6

組入銘柄数: 968銘柄

	銘柄	種別	クーポン	償還日	比率
1 第149回利付	国債(5年)	国債	0.0050%	2026/09/20	1.3%
2 第359回利付	国債(10年)	国債	0.1000%	2030/06/20	1.1%
3 第365回利付	国債(10年)	国債	0.1000%	2031/12/20	1.1%
4 第154回利付	国債(5年)	国債	0.1000%	2027/09/20	1.1%
5 第372回利付	国債(10年)	国債	0.8000%	2033/09/20	1.1%
6 第373回利付	国債(10年)	国債	0.6000%	2033/12/20	1.1%
7 第358回利付	国債(10年)	国債	0.1000%	2030/03/20	1.0%
8 第374回利付	国債(10年)	国債	0.8000%	2034/03/20	1.0%
9 第368回利付	国債(10年)	国債	0.2000%	2032/09/20	1.0%
10 第370回利付	国債(10年)	国債	0.5000%	2033/03/20	1.0%

・本資料は、三菱UFJアセットマネジメント株式会社が信頼できると判断した諸データに基づいて作成しましたが、その正確性、完全性を保証するものではあり ・本資料は、三菱UFJアセットマネジメント株式会社が信頼できると判断した諸データに基づいて作成しましたが、その正確性、完全性を保証するものではありません。また、上記の実績・データ等は過去のものであり、今後の成果を保証・約束するものではありません。・表示桁未満の数値がある場合、四捨五入しています。・原則として、比率は4資産総額に対する割合です。・コールローン他は未収・未払項目が含まれるため、マイナスとなる場合があります。・格付はいます。・原則として、比率は4資産総額に対する割合です。・コールローン他は未収・未払項目が含まれるため、マイナスとなる場合があります。・格付は、JCR、S&P、Moody'sのうち最も低い格付を表示しています。なお、付加記号(十、一等)を省略して集計し、S&Pの格付記号に基づき表示しています。・利回り、デュレーションは組入銘柄の純資産総額に対する比率で加重平均しています。・デュレーション調整のため、債券先物を組み入れることがあります。この場合、デュレーションについては債券先物を含めて計算しています。・利回りはファンドの将来の運用成果を保証するものではありません。・NOMURAーBPI総合指数とは、野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社が発表しているわが国の代表的な債券パフォーマンスインデックスです。当該指数の知的財産権およびその他一切の権利は同社に帰属します。なお、同社は、当該指数の正確性、完全性、信頼性、有用性、市場性、商品性および適合性を保証するものではなく、当該指数を用いて運用されるファンドの運用成果等に関して一切責任を負いません。

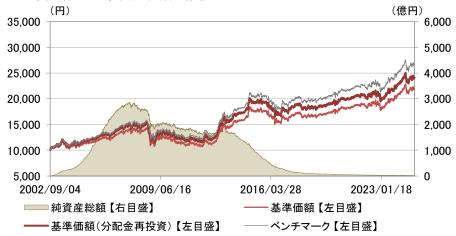
三菱UFJ 外国債券ファンドVA(適格機関投資家限定)

- ・投資型年金保険 アズユーライク(多機能付変額個人年金保険GF)は特別勘定で運用を行う商品です。特別勘定は投資信託を主な投資対象としていますが、当商品は投 資信託とは異なる商品です。
- また、当資料に掲載されている投資信託の開示情報はあくまでも参考情報であり、ご契約者が直接投資信託を保有するものではありません。
- ・当資料は、生命保険契約の募集および当該投資信託の勧誘を目的としたものではありません。
- ・特別勘定が用いる投資信託の値動きは、特別勘定のユニットプライスの値動きとは異なります。ユニットプライス算出のためには、組み入れファンドの損益に、保険契約の 異動等に備えたキャッシュ・ポジション部分の損益、保険関係費用等を加味する必要があります。
- ・当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。
- ・当資料は、三菱UFJアセットマネジメント株式会社による運用報告を、東京海上日動あんしん生命保険株式会社より提供するものであり、当資料の内容に関して、東京海 上日動あんしん生命保険株式会社は一切責任を負いません

■商品概要

主要投資対象	外国債券インデックスマザーファンド受益証券(外国の公社債に直接投資することもあります。)
運用方針	①外国債券インデックスマザーファンド受益証券を主要投資対象とし、ベンチマーク(FTSE世界国債インデックス(除く日本、円換算ベース))に連動する投資成果を目指して運用を行います。 ②外国債券インデックスマザーファンドは、日本を除く世界主要国の公社債を主要投資対象とします。 ③日本を除く世界主要国の公社債に直接投資することもできます。 ④外貨建資産については原則として為替ヘッジを行いません。ただし、市況動向等の判断により、為替ヘッジを行う場合があります。
設定日	2002年9月4日
信託期間	無期限
決算日	毎年2月20日(休業日の場合、翌営業日)
信託報酬	純資産総額に対し、年率0.385%(税抜 年率0.35%)

■基準価額および純資産総額の推移



- ・基準価額、基準価額(分配金再投資)は、運用管理費用(信託報酬)控除後の値です
- ・基準価額(分配金再投資)は、分配金(税引前)を再投資したものとして計算しています。
- ・ベンチマークは、設定日を10,000として指数化しています。

■騰落率

10 オランダ

■組入上位10ヵ国・地域

	過去1ヵ月	過去3ヵ月	過去6ヵ月	過去1年	過去3年	設定来
ファンド	-2.1%	-1.1%	0.5%	5.0%	17.3%	139.8%
ベンチマーク	-1.8%	-0.9%	0.9%	5.7%	19.0%	165.5%

・実際のファンドでは、課税条件によってお客さまごとの騰落率は異なります。

■組入通貨

1.3%

- ・ 実際のファンドでは、訴究ボートとのようとなっている。 また、検金時の費用・税金等は考慮していません。 ・設定来のファンドの騰落率は、10,000を起点として計算しています。 ・分配金実績がある場合は、分配金(税引前)を再投資したものとして計算しています。

■基準価額および純資産総額

基準価額(1万口当たり)	21,861円
前月末比	-459円
純資産総額	20.15億円
前月末比	-1.36億円

■分配金実績(1万口当たり、税引前)

決算期	決算日	分配金
第22期	2024/02/20	0円
第21期	2023/02/20	0円
第20期	2022/02/21	0円
第19期	2021/02/22	0円
第18期	2020/02/20	0円
第17期	2019/02/20	0円
設定来累計		1,150円

■資産構成

	比率
実質外国債券	99.5%
内 現物	99.5%
内 先物	0.0%
コールローン他	0.5%

■ポートフォリオ特性

	当月末
最終利回り	3.6%
直接利回り	2.8%
デュレーション	6.3

■残存期間別組入比率

3.7500%

国債

残	 存期間	比率
1年未満		0.7%
1~3年		28.3%
3~5年		21.2%
5~7年		13.2%
7~10年		13.6%
10年以上		22.5%
3~5年 5~7年 7~10年		21.29 13.29 13.69

2027/08/15 アメリカ

組入銘柄数: 973銘柄

0.4%

比率 償還日 1 アメリカ 1 米ドル 1 3.75 T-NOTE 260415 2026/04/15 アメリカ 47.4% 47.5% 国倩 3.7500% 0.6% 2 中国 11.3% 2 ユーロ 29.5% 2 1.625 T-NOTE 290815 国倩 1.6250% 2029/08/15 アメリカ 0.5% 3 中国元 3 フランス 7.2% 11.4% 3 4 T-NOTE 340215 国債 4.0000% 2034/02/15 アメリカ 0.5% 4 イタリア 4 英ポンド 5.1% 国債 1.2500% 2031/08/15 アメリカ 6.7% 4 1.25 T-NOTE 310815 0.5% 5 カナダドル 5 ドイツ 5.4% 2.0% 5 1.375 T-NOTE 311115 国債 1.3750% 2031/11/15 アメリカ 0.5% その他 6 イギリス 5.1% 4.5% 6 3.875 T-NOTE 340815 国債 3.8750% 2034/08/15 アメリカ 0.5% 7 スペイン 7 4 375 T-NOTF 340515 国倩 4.3750% 2034/05/15 アメリカ 4.6% 0.5% 8 カナダ 1.9% 8 4.5 T-NOTE 331115 国債 4.5000% 2033/11/15 アメリカ 0.5% 9 ベルギー 1.5% 9 4.5 T-NOTE 260715 国債 4.5000% 2026/07/15 アメリカ 0.4%

■組入上位10銘柄

Income LLCにより運営され、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した債券インデックスです。同指数のデータは、情報提供のみを目的としており、FTSE Fixed Income LLCは、当該データの正確性および完全性を保証せず、またデータの誤謬、脱漏または遅延につき何ら責任を負いません。このインデックスに対する著作権等の知的財産その他一切の権利はFTSE Fixed Income LLCに帰属します。FTSE世界国債インデックス (除く日本、円換算ベース)は、FTSE世界国債インデックス(除く日本)をもとに、委託会社が計算したものです。

10 3.75 T-NOTE 270815

【組入投資信託の運用概況】

TMA東海3県日本株式VA・TMA外国株式インデックスVA <適格機関投資家限定>

- 投資型年金保険アズユーライク(多機能付変額個人年金保険GF)は特別勘定で運用を行う商品です。特別勘定は投資信託を主な投資対象としていますが、当商品は投資信託と は異なる商品です。また、当資料に掲載されている投資信託の開示情報はあくまでも参考情報であり、ご契約者が直接投資信託を保有するものではありません。
- 当資料は、生命保険契約の募集および当該投資信託の勧誘を目的としたものではありません。
- 特別勘定が用いる投資信託の値動きは、特別勘定のユニットプライスの値動きとは異なります。ユニットプライス算出のためには、組み入れファンドの損益に、保険契約の異動等 に備えたキャッシュ・ポジション部分の損益、保険関係費用等を加味する必要があります。
- 当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。
- 当資料は、東京海上アセットマネジメント株式会社による運用報告を、東京海上日動あんしん生命保険株式会社から提供するものであり、当資料の内容に関して、東京海上日動 あんしん生命保険株式会社は一切責任を負いません。

◆TMA東海3県日本株式VA<適格機関投資家限定>



騰落率(%)

	1カ月	設定来
当ファンド	-1.94	+126.69

純資産総額

8 百万円

※上記グラフは過去の実績であり、将来の運用成果をお約束するものではありません。※基準価額は1万口当たりで、信託報酬控除後のものです。

組入上位10銘柄

(組入銘柄数:50銘柄)

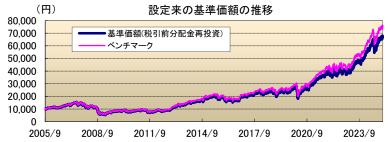
組入上位10業種

4277	(1271)		
No	銘柄	業種名	比率(%)
1	豊田自動織機	自動車	7.75
2	トヨタ自動車	自動車	7.63
3	デンソー	自動車	7.49
4	豊田通商	金属•資源	6.43
5	東海旅客鉄道	運輸	6.21
6	アイシン	自動車	3.70
7	中部電力	公益	3.26
8	マキタ	機械	2.97
9	日本特殊陶業	電子部品	2.96
10	ブラザー工業	民生用エレクトロニクス	2.30
	1 11 4517 (5.5.)		10) 0 1

ルハエは10末住			
No	業種名	比率(%)	
1	自動車	35.01	
2	機械	11.39	
3	運輸	9.08	
4	金属•資源	7.87	
5	建設•不動産	6.36	
6	電子部品	5.43	
7	公益	4.52	
8	小売	3.21	
9	医薬・ヘルスケア	2.87	
10	サービス	2.65	
7 は散せ独立の01 業種八粒です ツルタはつぜ コ			

※組入上位10銘柄・組入上位10業種はマザーファンド(TMA東海3県マザーファンド)ベースです。※業種名は弊社独自の21業種分類です。※比率はマザーファンドの純資産総 額に占める割合です。

◆TMA外国株式インデックスVA<適格機関投資家限定>



騰落率(%)

	1カ月	設定来
当ファンド	+0.16	+570.03
ベンチマーク	+0.34	+653.09
差	-0.18	-83.06

純資産総額

9 百万円

※ベンチマークはMSCIコクサイ指数(配当込み、円ヘッジなし・円ベース)で、上記グラフ設定日を10,000円として指数化しております(設定日:2005年9月26日)。※基準価額は対顧客電信売買相場の仲値(TTM)を用いて計算しているため、MSCIコクサイ指数は、基準日前日のMSCIコクサイ指数(米ドルベース)を基準日のTTMで委託会社が円換算したものを使用しています。同指数の著作権、知的財産権その他一切の権利はMSCIに帰属します。また、MSCIは同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。MSCIの許諾なしにインデックスの一部または全部を複製、頒布、使用等することは禁じられています。MSCIは当ファンドとは関係なく、当ファンドから生じるいかなる責任も負いません。※上記グラフは過去の実績であり、将来の運用成果をお約束するものではありません。※基準価額は1万口当たりで、信託報酬控除後のものです。

40 3 1 /* 4 0 6 6 1 T

/ 40 3 A/ 1工 *L 4 0 0 4 A/ 1工 \

組入上位10力国

組入上位10業種

<u>粗人</u>	、上位10銘枘	(?	<u> 組入銘枘致:10</u>	31銘柄 <i>)</i>
No	銘柄	国名	業種	比率(%)
1	APPLE INC	アメリカ	〒クノロジー・ハードウェアおよび機器	5.18
2	NVIDIA CORP	アメリカ	半導体·半導体製造装置	4.39
3	MICROSOFT CORP	アメリカ	ソフトウェア・サーヒ、ス	4.20
4	AMAZON.COM INC	アメリカ	一般消費財・サービス流通・小売り	3.18
5	META PLATFORMS INC-A	アメリカ	メディア・娯楽	2.15
6	ALPHABET INC-CL A	アメリカ	メディア・娯楽	1.68
7	TESLA INC	アメリカ	自動車·自動車部品	1.66
8	ALPHABET INC-CL C	アメリカ	メディア・娯楽	1.47
9	BROADCOM INC	アメリカ	半導体·半導体製造装置	1.38
10	JPMORGAN CHASE & CO	アメリカ	銀行	1.10
义성 3 L片10성도 성 3 L片10+1로 성 3 L片10类種(ナラギ・ラー) I*/TNAA H 모반 구 / , 루				

No	国名	比率(%)
1	アメリカ	76.91
2	イギリス	3.59
3	カナダ	3.10
4	フランス	2.73
5	スイス	2.37
6	ドイツ	2.34
7	オーストラリア	1.77
8	オランダ	1.07
9	スウェーデン	0.78
10	イタリア	0.71

No	業種	比率(%)
1	ソフトウェア・サービス	10.03
2	半導体·半導体製造装置	8.50
3	金融サービス	7.42
4	メディア・娯楽	7.27
5	資本財	6.90
6	〒クノロジー・ハードウェアおよび機器	6.71
7	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	6.68
8	銀行	5.86
9	一般消費財・サービス流通・小売り	5.30
10	ヘルスケア機器・サービス	3.93

上位10銘柄・組入上位10カ国・組入上位10業種はマザーファンド(TMA外国株式インデックスマザーファンド)ベースです。※比率はマザーファンドの純資産総額に占める 割合です。

注)当資料は信頼できると思われる情報に基づき東京海上アセットマネジメント株式会社により作成されていますが、東京海上アセットマネジメント株式会社は その正確性、完全性を保証するものではありません。

【組入投資信託の運用概況】

TMA日本債券インデックスVA・TMA外国債券インデックスVA く適格機関投資家限定>

- ・ 投資型年金保険アズユーライク(多機能付変額個人年金保険GF)は特別勘定で運用を行う商品です。特別勘定は投資信託を主な投資対象としていますが、当商品は投資信託と は異なる商品です。また、当資料に掲載されている投資信託の開示情報はあくまでも参考情報であり、ご契約者が直接投資信託を保有するものではありません。
- ・ 当資料は、生命保険契約の募集および当該投資信託の勧誘を目的としたものではありません。
- ・ 特別勘定が用いる投資信託の値動きは、特別勘定のユニットプライスの値動きとは異なります。ユニットプライス算出のためには、組み入れファンドの損益に、保険契約の異動等 に備えたキャッシュ・ポジション部分の損益、保険関係費用等を加味する必要があります。
- ・ 当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。
- ・ 当資料は、東京海上アセットマネジメント株式会社による運用報告を、東京海上日動あんしん生命保険株式会社から提供するものであり、当資料の内容に関して、東京海上日動 あんしん生命保険株式会社は一切責任を負いません。

◆TMA日本債券インデックスVA<適格機関投資家限定>



騰落率(%)

(組入銘柄数·291銘柄)

	1カ月	設定来
当ファンド	-0.76	+11.58
ベンチマーク	-0.74	+18.89
差	-0.03	-7.31

純資産総額

17 百万円

※ベンチマークはNOMURA-BPI(総合)で、上記グラフ上設定日を10,000円として指数化しております(設定日:2005年9月29日)。 NOMURA-BPI(総合)とは、野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社(以下、NFRC)が公表する日本の公募債券流通市場全体の動向を的確に表す代表的な指標です。NOMURA-BPIは、NFRCの知的財産です。NFRCは、当ファンドの運用成績等に関し、何ら責任を負うものではありません。※上記グラフは過去の実績であり、将来の運用成果をお約束するものではありません。 ※基準価額は1万口当たりで、信託報酬控除後のものです。

組入上位10銘柄

小山ノく	T 12 (0 EU/L)		(MIL)(ELITE)	(. 20 I ELITE)
No	銘柄	利率(%)	償還日	比率(%)
1	第356回利付国債(10年)	0.100	2029/09/20	1.28
2	第149回利付国債(5年)	0.005	2026/09/20	1.09
3	第372回利付国債(10年)	0.800	2033/09/20	1.08
4	第373回利付国債(10年)	0.600	2033/12/20	1.05
5	第366回利付国債(10年)	0.200	2032/03/20	1.05
6	第359回利付国債(10年)	0.100	2030/06/20	1.03
7	第354回利付国債(10年)	0.100	2029/03/20	1.02
8	第367回利付国債(10年)	0.200	2032/06/20	1.02
9	第360回利付国債(10年)	0.100	2030/09/20	0.98
10	第358回利付国債(10年)	0.100	2030/03/20	0.96
× 48 1	トは10数5.4と手が引い家。ポートフェリナの供泡はフザーファ	\.L\(\T\A\A\D\\	き米 ハ ボックフマザ	

※組入上位10銘柄・債券種別比率・ポートフォリオの状況はマザーファンド(TMA日本債券インデックスマザーファンド)ベースです。※比率はマザーファンドの純資産総額に占める割合です。

債券種別比率

惧 夯悝別几 个	
種別	比率(%)
国債	90.05
地方債	4.81
政府保証債	0.31
金融債	_
事業債	4.39
円建外債	_
MBS•ABS	0.27
ポートフォリオの状況	
平均最終利回り(複利、%)	1.20
平均クーポン(%)	0.70
平均残存年数(年)	9.51
平均修正デュレーション	8.60
※ポートフェリオの仕事は全点	一位に生た去古

※ポートフォリオの状況は途中償還等を考慮して計算しています。

◆TMA外国債券インデックスVA<適格機関投資家限定>



騰落率(%)

	1カ月	設定来
当ファンド	-2.12	+91.84
ベンチマーク	-2.08	+106.95
差	-0.04	-15.11

純資産総額

出所:ブルームバーグ

20 百万円

2005/7 2008/7 2017/7

組入上位10銘柄

(組入銘柄数:859銘柄

祖人	上沙IU跖枘			(組入銘例第	(1859銘例)
No	銘柄	利率(%)	償還日	通貨	比率(%)
1	米国債	3.875	2027/12/31	米ドル	0.66
2	中国債	2.550	2028/10/15	中国元	0.64
3	米国債	4.875	2028/10/31	米ドル	0.62
4	米国債	3.750	2027/08/15	米ドル	0.60
5	米国債	3.750	2028/12/31	米ドル	0.60
6	米国債	4.125	2032/11/15	米ドル	0.60
7	米国債	4.500	2033/11/15	米ドル	0.55
8	米国債	4.625	2026/09/15	米ドル	0.49
9	米国債	4.125	2026/10/31	米ドル	0.49
10	米国債	4.125	2027/11/15	米ドル	0.48

通貨別比率(組入上位5通貨)

<u> </u>			
通貨	比率(%)		
米ドル	46.92		
그	29.00		
中国元	11.13		
英ポンド	5.05		
カナダ・ドル	1.95		
ポートフォリオの状況			
亚梅里级利同共(複利 04)	2.60		

ボートノオリオの状況 平均最終利回り(複利、%) 3.60 平均クーポン(%) 2.81 平均残存期間(年) 8.18 平均修正デュレーション 6.32

※組入上位10銘柄・通貨別比率・ポートフォリオの状況はマザーファンド(TMA外国債券インデックスマザーファンド)ベースです。

※比率はマザーファンドの純資産総額に占める割合です。

注)当資料は信頼できると思われる情報に基づき東京海上アセットマネジメント株式会社により作成されていますが、東京海上アセットマネジメント株式会社は その正確性、完全性を保証するものではありません。

2025年1月31日現在

三菱UFJ MV20VA・三菱UFJ MV40VA・三菱UFJ MV80VA(適格機関投資家限定)

- ・投資型年金保険 アズユーライク(多機能付変額個人年金保険GF)は特別勘定で運用を行う商品です。特別勘定は投資信託を主な投資対象としていますが、当商品は投資信託とは異なる商品です。
- また、当資料に掲載されている投資信託の開示情報はあくまでも参考情報であり、ご契約者が直接投資信託を保有するものではありません。
- ・当資料は、生命保険契約の募集および当該投資信託の勧誘を目的としたものではありません。
- ・特別勘定が用いる投資信託の値動きは、特別勘定のユニットプライスの値動きとは異なります。ユニットプライス算出のためには、組み入れファンドの損益に、保険契約の異動等 に備えたキャッシュ・ポジション部分の損益、保険関係費用等を加味する必要があります。
- ・当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。
- ・当資料は、三菱UFJアセットマネジメント株式会社による運用報告を、東京海上日動あんしん生命保険株式会社より提供するものであり、当資料の内容に関して、東京海上日動 あんしん生命保険株式会社は一切責任を負いません。

■商品概要

三菱UFJ MV20VA・三菱UFJ MV40VA・三菱UFJ MV80VA(適格機関投資家限定)は、2002年9月11日に設定され(信託期間:無期限)、日本を含む世界各国の株式および公社債(これらを主要投資対象とするマザーファンド受益証券を含みます。)を主要投資対象とする投資信託証券に投資し、リスクの軽減に努めつつ中長期的に着実な成長をめざす追加型証券投資信託(ファンド・オブ・ファンズ)です。

三菱UFJ MV20VA(適格機関投資家限定)



・基準価額(分配金再投資)は、分配金再投資)は、運用管理費用(信託報酬)控除後の値です。 ・基準価額(分配金再投資)は、分配金(税引前)を再投資したものとして計算しています。 ・ベンチマークは、配当込み TOPIX 15%、MSCIコクサイ インデックス(除く日本 円換算 ベース 配当込み)5%、NOMURA — BPI総合指数39%、FTSE世界国債インデックス(除く 日本、円ヘッジ・円ベース)35%、FTSE世界国債インデックス(除く日本、円ベース)5%、有 担保コールレート翌日物1%で組み合わせた指数です。 ・ベンチマークは、設定日を10,000として指数化しています。

■騰落率

	過去1ヵ月	過去3ヵ月	過去6ヵ月	過去1年	過去3年	設定来
ファンド	-0.2%	-0.4%	-0.4%	0.7%	-0.5%	72.7%
ベンチマーク	-0.3%	-0.0%	0.1%	1.5%	1.3%	86.7%

■純資産総額

純資産総額	1.36億円
前月末比	-0.21億円

■分配金実績(1万口当たり、税引前)

■資産構成

	比率
日本株式	14.7%
日本債券	38.6%
外国株式	4.6%
外国債券(為替ヘッジあり)	34.4%
外国債券(為替ヘッジなし)	4.5%
コールローン他	3.3%

三菱UFJ MV40VA(適格機関投資家限定)

■基準価額および純資産総額の推移



――基準価額(分配金再投資)【左日盛] ペジチマーク【左日盛] ・基準価額、基準価額(分配金再投資)は、運用管理費用(信託報酬)控除後の値です。・基準価額(分配金再投資)は、分配金(税引前)を再投資したものとして計算しています。・ベンチマークは、配当込みTOPIX30%、MSCIコクサイ インデックス(除く日本 円換算ベース 配当込み)10%、NOMURA ― BPI総合指数20%、FTSE世界国債インデックス(除く日本、円ペース)25%、有担保コールレート翌日物1%で組み合わせた指数です。・ベンチマークは、設定日を10,000として指数化しています。

■騰落率

	過去1ヵ月	過去3ヵ月	過去6ヵ月	過去1年	過去3年	設定来
ファンド	-0.3%	0.5%	0.7%	4.7%	12.9%	142.9%
ベンチマーク	-0.3%	0.9%	1.3%	5.2%	15.4%	161.1%

■純資産総額

純資産総額	3.96億円
前月末比	-1.53億円

■分配金実績(1万口当たり、税引前)

決算期	決算日	分配金
第23期	2024/12/12	0円
第22期	2023/12/12	0円
第21期	2022/12/12	0円
第20期	2021/12/13	0円
第19期	2020/12/14	0円
第18期	2019/12/12	0円
設定来累計		1,000円

■資産構成

	比率
日本株式	30.19
日本債券	28.89
外国株式	9.99
外国債券(為替ヘッジあり)	24.99
外国債券(為替ヘッジなし)	4.99
コールローン州	1 10

三菱UFJ MV80VA(適格機関投資家限定)

■基準価額および純資産総額の推移



・基準価額、基準価額(分配金再投資)は、運用管理費用(信託報酬)控除後の値です。 ・基準価額(分配金再投資)は、分配金(税引前)を再投資したものとして計算しています。 ・ベンチマークは、配当込みと5%、NOMURA — BPI総合指数9%、FTSE世界国債インデックス(除く 日本、円ペッジ・円ペース)5%、FTSE世界国債インデックス(除く日本、円ペース)5%、有 担保コールレート翌日物別で組み合わせた指数です。 ・ベンチマークは、設定日を10,000として指数化しています。

■騰落率

	過去1ヵ月	過去3ヵ月	過去6ヵ月	過去1年	過去3年	設定来
ファンド	0.2%	3.9%	0.6%	10.3%	42.4%	342.3%
ベンチマーク	-0.4%	2.7%	4.1%	13.5%	49.8%	389.5%

■純資産総額

純資産総額	4.52億円
前月末比	+1.61億円

■資産構成

	比率
日本株式	55.2%
日本債券	8.8%
外国株式	24.9%
外国債券(為替ヘッジあり)	4.9%
外国債券(為替ヘッジなし)	4.9%
コールローン他	1.3%

■分配金実績(1万口当たり、税引前)

決算期	決算日	分配金
第23期	2024/12/12	0円
第22期	2023/12/12	0円
第21期	2022/12/12	0円
第20期	2021/12/13	0円
第19期	2020/12/14	0円
第18期	2019/12/12	0円
設定来累計		1,000円

・本資料は、三菱UFJアセットマネジメント株式会社が信頼できると判断した諸データに基づいて作成しましたが、その正確性、完全性を保証するものではありません。また、上記の実績・データ等は過去 のものであり、今後の成果を保証・約束するものではありません。・表示析未満の数値がある場合、四捨五入しています。・実際のファンドでは、課税条件によってお客さまごとの騰落率は異なります。ま た、換金時の費用・税金等は考慮していません。・設定来のファンドの騰落率は、10,000を起点として計算しています。・分配金実績がある場合は、ファンドの騰落率は分配金(税引前)を再投資したもの として計算しています。・原則として、比率は純資産総額に対する割合です。・コールローン他は未収・未払項目が含まれるため、マイナスとなる場合があります。 【組入投信の運用概況】 2025年1月31日現在

三菱UFJ MV20VA・三菱UFJ MV40VA・三菱UFJ MV80VA(適格機関投資家限定)

・投資型年金保険 アズユーライク(多機能付変額個人年金保険GF)は特別勘定で運用を行う商品です。特別勘定は投資信託を主な投資対象としていますが、当商品は投資信 託とは異なる商品です。

また、当資料に掲載されている投資信託の開示情報はあくまでも参考情報であり、ご契約者が直接投資信託を保有するものではありません。

- ・当資料は、生命保険契約の募集および当該投資信託の勧誘を目的としたものではありません。
- ・特別勘定が用いる投資信託の値動きは、特別勘定のユニットプライスの値動きとは異なります。ユニットプライス算出のためには、組み入れファンドの損益に、保険契約の異動等 に備えたキャッシュ・ポジション部分の損益、保険関係費用等を加味する必要があります。
- ・当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。
- ・当資料は、三菱UFJアセットマネジメント株式会社による運用報告を、東京海上日動あんしん生命保険株式会社より提供するものであり、当資料の内容に関して、東京海上日動 あんしん生命保険株式会社は一切責任を負いません。

市況概況

【市場の動き】

1月の海外株式相場は上昇しました。米国では、12月の非農業部門雇用者数は前月比25万6千人増となり、失業率は 4.1%と前月から0.1ポイント低下しました。消費者物価指数(CPI)は、前年同月比で2.9%の上昇となりました。米連邦 公開市場委員会(FOMC)では、政策金利の据え置きを決定しました。欧州では、12月のユーロ圏の消費者物価指数 (HICP)の速報値は、前年同月比2.4%上昇し、前月の2.2%から伸びが加速しました。10-12月期のユーロ圏の域内 総生産(GDP)の速報値は、前期比横ばいとなりました。欧州中央銀行(ECB)は0.25%の利下げを決定し、4会合連 続での利下げとなりました。こうした環境下、米国では、利下げ観測の後退やトランプ米大統領の関税政策への懸念、 中国の新興企業による人工知能(AI)技術の発表等がマイナス要因となったものの、堅調な企業業績や米長期金利 の低下等が追い風となって上昇し、最終的に前月末を上回る水準で月を終えました。欧州では、米国の新政権の関 税政策への警戒感等が悪材料となりましたが、ECBの利下げや堅調な企業業績等により上昇し、最終的に前月末を 上回る水準で月を終えました。

国内株式相場はわずかに上昇しました。円高や中国のAI技術の発表等から下落する局面もありましたが、米国株式 の上昇やAI関連の投資への期待等から上昇し、最終的に前月末を上回る水準で月を終えました。

海外債券相場は全体では上昇しました。前月末に4.5%台後半であった米国10年物国債利回りは、前半は堅調な米 経済指標等による早期利下げ観測の後退や、新政権の政策によるインフレ再燃懸念等を背景に上昇しました。後半 は米連邦準備制度理事会(FRB)高官の発言やハイテク株の下落等を受けて低下し、最終的に4.5%台前半で月を終 えました。前月末に2.3%台後半であったドイツ10年物国債利回りは、ECBが利下げを決定したものの、ユーロ圏のイ ンフレの再加速や堅調な株式相場等を背景に上昇し、最終的に2.4%台後半で月を終えました。

国内債券相場は下落しました。前月末に1.1%台前半であった10年物国債利回りは、前半は米長期金利の上昇や日 銀の追加利上げ観測等から上昇しました。後半は米長期金利の低下を受けて低下する局面もありましたが、日銀の 利上げ決定や物価見通しの引き上げ等を背景に上昇して、最終的に1.2%台前半で月を終えました。

為替市場では、日銀が政策金利を引き上げたこと等を受けて円高が進んだことから、米ドル/円相場は1.5%の円高、 ユーロ/円相場は1.1%の円高となりました。

【ラッセル・インベストメント グループ】

ラッセル・インベストメント グループは、年金、金融機関および個人投資家など様々な投資家の皆様を対象に、グロ-バルに総合的な資産運用ソリューションを提供しています。

グローバルに行う運用会社調査をもとに、資産運用、オルタナティブ投資、確定拠出年金サービス、資産運用コンサル ティング、売買執行管理など幅広く業務を行っており、現在当グル―プの運用資産総額は約47兆円※となっています。 (※2024年9月末現在、為替換算レート:143.04円/ドル。運用資産総額にはオーバーレイ運用を含みます。)

【ラッセル・インベストメント株式会社】

これまでラッセル・インベストメント グループが世界で提供してきた"マルチ・マネージャー・ファンド"を日本で初めて設 定・運用管理し、日本の投資家の皆様にご提供致しております。

[・]三菱UFJ MV20VA/MV40VA/MV80VAの主要投資対象である投資信託証券を運用しているラッセル・インベストメント株式会社からのデータ・コメントを原則としてそのまま掲載しています。 ・市況の変動等により方針通りの運用が行われない場合があります。 ・本資料は、三菱UFJアセットマネジメント株式会社が信頼できると判断した諸データに基づいて作成しましたが、その正確性、完全性を保証するものではありません。また、上記の実績・データ等は過去 のものであり、今後の成果を保証・約束するものではありません。

三菱UFJ MV20VA・三菱UFJ MV40VA・三菱UFJ MV80VA(適格機関投資家限定)

・投資型年金保険 アズユーライク(多機能付変額個人年金保険GF)は特別勘定で運用を行う商品です。特別勘定は投資信託を主な投資対象としていますが、当商品は投資信 託とは異なる商品です。

また、当資料に掲載されている投資信託の開示情報はあくまでも参考情報であり、ご契約者が直接投資信託を保有するものではありません。

- ・当資料は、生命保険契約の募集および当該投資信託の勧誘を目的としたものではありません。
- ・特別勘定が用いる投資信託の値動きは、特別勘定のユニットプライスの値動きとは異なります。ユニットプライス算出のためには、組み入れファンドの損益に、保険契約の異動等 に備えたキャッシュ・ポジション部分の損益、保険関係費用等を加味する必要があります。
- ・当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。
- ・当資料は、三菱UFJアセットマネジメント株式会社による運用報告を、東京海上日動あんしん生命保険株式会社より提供するものであり、当資料の内容に関して、東京海上日動 あんしん生命保険株式会社は一切責任を負いません。

各投資信託証券の運用経過および運用状況

ラッセル·インベストメント日本株式ファンドII(適格機関投資家限定)

1.運用成果

設定日 2000年12月21日

			(2025年1月末)
ファンド・ベン	チマーク騰落率		
	設定来	過去1年間	期初来
ファンド	274.4%	14.2%	1.2%
ヘ・ンチマーク	248.4%	11.9%	1.6%
	過去6ヵ月	過去3ヵ月	過去1ヵ月
ファンド	0.5%	3.8%	-0.1%
ヘ・ンチマーク	1.0%	3.6%	0.1%
組	入銘柄数	389	銘柄

株式保有上位10銘柄		(2025年1月末)
銘 柄	業 種	組入比率※1
ソニーグループ	電気機器	3.7%
日立製作所	電気機器	3.1%
リクルートホールディングス	サービス業	2.5%
オリックス	その他金融業	2.5%
トヨタ自動車	輸送用機器	2.4%
セブン&アイ・ホールディングス	小売業	2.4%
三菱UFJフィナンシャル・グループ	銀行業	2.2%
日本電信電話	情報·通信業	1.7%
ソフトバンクグループ	情報·通信業	1.7%
三井住友フィナンシャルグループ	銀行業	1.7%
※1 組入比率は株式評価額合計に対す	る割合(投資信託除く)	

2.ファンドの内容

上位10業種の配分

組入比率の比較とベンチマーク収益率 (2025年1月末)

	1	R 1	1		ファンド※1	ベンチマーク	ペンチマーク収益率
電	気	ī	機	器	22.5%	17.8%	1.5%
銀		行		業	9.7%	9.1%	6.3%
輸	送	用	機	器	7.0%	7.6%	-3.9%
機				械	6.2%	5.6%	1.3%
情	報	· 通	1 信	業	6.2%	7.6%	1.3%
化				学	5.0%	4.9%	-3.5%
小		売		業	4.6%	4.6%	-0.2%
卸		売		業	4.0%	6.5%	-4.7%
サ	_	ビ	ス	業	3.8%	5.2%	0.9%
保		険		業	3.4%	3.2%	-4.1%

ベンチマーク: TOPIX(配当込み)

TOPIXの指数値および商機は、株式会社JPX総研または株式会社JPX総研の関連会社(以下「JPX」といいます。)の知的財産であり、すべての権利はJPXが所有しています。また、これらの情報は信頼のおける情報源から得たものではありますが、JPX はその確 実性および完結性に責任を負うものではありません。

外部委託運用会社	※2 キャッシュ・エクイタイゼーション (流動	資産の株式化)部分を除きます。
運用会社	運用スタイル	目標配分割合※2
アセットマネジメントOne(投資助言)	(注) グロース型	18.5%
ポリマー・キャピタル・ジャパン(投資助言	(注) グロース型	7.5%
SOMPOアセットマネジメント(投資助言)(注) バリュー型	30.0%
ラッセル・インヘ・ストメント・インプリメンテーション・ち	ナービシーズ バリュー型	5.0%
スパークス・アセット・マネジメント(投資助	言)(注) マーケット・オリエンテット・型	17.0%
M&Gインベストメンツ(投資助言	`)(注) マーケット・オリエンテッド型	17.0%
ラッセル・インヘ・ストメント・インプリメンテーション・サ	ナービシーズ ポートフォリオ特性補強型	5.0%
(注)久澤田今井の仏姿助言に其づき	・ ラッセル・インス*フト かっと、インプリヤッテーション、サードさ	

3.運用状況

1月の国内株式相場は上昇しました(TOPIX(配当込み)は前月末比0.1%上昇)。こうした中、ラッセル・インベストメント日本株式ファンドⅡの基準価額は 前月末比0.1%下落しました。国内株式相場は、円高や中国のAI技術の発表等から下落する局面もありましたが、米国株式の上昇やAI関連の投資への 期待等から上昇し、最終的に前月末を上回る水準で月を終えました。Russell/Nomuraグロース指数は前月比0.1%上昇、同バリュー指数は0.3%上昇し、 バリューがグロースを上回りました。

ラッセル・インベストメント外国株式ファンド II (適格機関投資家限定)

1. 運用成果

設定日 2000年12月21日

(2025年1	日 丰/

ファンド・ベン	チマーク騰落率		
	設定来	過去1年間	期初来
ファンド	622.2%	25.4%	3.3%
ヘ゛ンチマーク	753.1%	30.3%	1.5%
	過去6ヵ月	過去3ヵ月	過去1ヵ月
ファンド	11.5%	5.0%	1.3%
ヘ・ンチマーク	12.1%	7.5%	2.1%
組入銘柄数		547	銘柄

株式保有上位10銘柄		(2025年1月末)
銘 柄	通貨	組入比率※1
MICROSOFT CORP	USD	3.3%
META PLATFORMS INC-CLASS A	USD	3.0%
TAIWAN SEMICONDUCTOR-SP ADR	USD	2.7%
APPLE INC	USD	2.2%
ALPHABET INC-CL A	USD	2.1%
AMAZON.COM INC	USD	2.0%
MASTERCARD INC - A	USD	1.8%
NVIDIA CORP	USD	1.4%
ALPHABET INC-CL C	USD	1.3%
UNITEDHEALTH GROUP INC	USD	1.1%
※1 組入比率は株式評価額合計に対する割	合(投資信託除	<)

2 ファンドの 内 窓

地域別配分

組入比率の比較とペンチマーク収益率	(2025年1月末)

地域	ファンド※2	ベンチマーク	ペンチマーク収益率
北米地域	77.7%	80.8%	1.5%
ユーロ地域	9.7%	8.4%	6.1%
ユーロ除く欧州	7.7%	7.9%	4.5%
その他	4.8%	3.0%	2.1%
	- 4 11 41 44 - 78 18 47 4 71 .		

※2組入比率は株式及び先物等の評価額合計に対する割合(投資信託含む)

ベンチマーク: MSCI KOKUSAI(配当込み)

MSCI KOKUSAIインデックスに関する著作権およびその他知的財産権はすべてMSCI Inc.に帰属しており、その許諾なしにコピー を含め電子的、機械的な一切の手段その他、あらゆる形態を用い、インデックスの全部または一部を複製、配付、使用することは 業にられています。またこれらの情報は信頼のおける情報源から得たものでありますが、その確実性および完結性をMSCI Inc は何ら保証するものではありません。

外部委託運用会社

運用会社	運用スタイル	目標配分割合※3
パインストーン・アセット・マネジメント(投資助言)(注)	グロース型	14.5%
モルカン・スタンレー・インベストメント・マネシ・メント(投資助言)(注)	グロース型	12.5%
サンダース・キャピタル(投資助言)(注)	バリュー型	16.5%
プジーナ・インベストメント・マネジメント(投資助言)(注)	バリュー型	16.5%
ニューメリック・インベスターズ(投資助言)(注)	マーケット・オリエンテット・型	18.0%
ラッセル・インヘ・ストメント・インプリメンテーション・サービシース		22.0%
※3 キャッシュ・エクイタイゼーション(流動資産	の株式化)部分を除きます。	

(注)各運用会社の投資助言に基づき、ラッセル・インベストメント・インプリメンテーション・サービシーズが運用の指図を行います。

1月の海外株式相場は上昇しました(MSCI KOKUSAI(配当込み)は前月末比2.1%上昇)。こうした中、ラッセル・インベストメント外国株式ファンドⅡの 基準価額は前月末比1.3%上昇しました。海外株式相場は、米国では利下げ観測の後退やトランプ米大統領の関税政策への懸念、中国の新興企業によ るAI技術の発表等がマイナス要因となったものの、堅調な企業業績や米長期金利の低下等が追い風となって上昇し、最終的に前月末を上回る水準で月 を終えました。欧州では、米国の新政権の関税政策への警戒感等が悪材料となりましたが、欧州中央銀行(ECB)の利下げや堅調な企業業績等により 上昇し、最終的に前月末を上回る水準で月を終えました。為替市場では、米ドル/円相場は1.5%の円高、ユーロ/円相場は1.1%の円高となりました。

運用成果はラッセル・インベストメント日本株式ファンド II (適格機関投資家限定)及びラッセル・インベストメント外国株式ファンド II (適格機関投資家限定)に関するもので、上位10業種の配分、地域別配 分、株式保有上位10銘柄、外部委託運用会社、運用状況はラッセル・インベストメント日本株式マザーファンド及び、ラッセル・インベストメント外国株式マザーファンドについての記述です。運用成果は過 去の実績であり、将来の結果をお約束するものではありません。また、運用成果は実際の投資家利回りとは異なります。ベンチマークの数字は各当該指数の実績を示すものであり、ファンドの実績或いは 将来の成果を保証するものではありません。

- ・三菱UFJ MV20VA/MV40VA/MV80VAの主要投資対象である投資信託証券を運用しているラッセル・インベストメント株式会社からのデータ・コメントを原則としてそのまま掲載しています。 市況の変動等により方針通りの運用が行われない場合があります。 ・本資料は、三菱UFJアセットマネジメント株式会社が信頼できると判断した諸データに基づいて作成しましたが、その正確性、完全性を保証するものではありません。また、上記の実績・データ等は過去 のものであり、今後の成果を保証・約束するものではありません。

2025年1月31日現在

三菱UFJ MV20VA・三菱UFJ MV40VA・三菱UFJ MV80VA(適格機関投資家限定)

・投資型年金保険 アズユーライク(多機能付変額個人年金保険GF)は特別勘定で運用を行う商品です。特別勘定は投資信託を主な投資対象としていますが、当商品は投資信

また、当資料に掲載されている投資信託の開示情報はあくまでも参考情報であり、ご契約者が直接投資信託を保有するものではありません。

- ・当資料は、生命保険契約の募集および当該投資信託の勧誘を目的としたものではありません。
- ・特別勘定が用いる投資信託の値動きは、特別勘定のユニットプライスの値動きとは異なります。ユニットプライス算出のためには、組み入れファンドの損益に、保険契約の異動等 に備えたキャッシュ・ポジション部分の損益、保険関係費用等を加味する必要があります。
- ・当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。
- ・当資料は、三菱UFJアセットマネジメント株式会社による運用報告を、東京海上日動あんしん生命保険株式会社より提供するものであり、当資料の内容に関して、東京海上日動 あんしん生命保険株式会社は一切責任を負いません。

各投資信託証券の運用経過および運用状況

ラッセル·インベストメント日本債券ファンドII(適格機関投資家限定)

1.運用成果

設定日 2002年9月12日

			(2025年1月末)		
ファンド・ベン	ファンド・ベンチマーク騰落率				
	設定来	過去1年間	期初来		
ファンド	14.7%	-2.9%	-0.7%		
ヘ゛ンチマーク	20.9%	-2.9%	-0.9%		
	過去6ヵ月	過去3ヵ月	過去1ヵ月		
ファンド	-0.7%	-1.3%	-0.6%		
ヘ゛ンチマーク	-0.6%	-1.5%	-0.7%		

べいチマーク・NOMIDA-RDI総合指数

NOMURA-BPI 総合指数は、野村フィデュー -チ&コンサルティング株 式会社(以下「NFRC」といいます。)が公表する、国内で発行された公募利付債券の市場全体の動向を表す投資収益指数です。NOMURA-BPIは、NFRCが作成している指 数で、当該指数に関する一切の知的財産権とその他一切の権利はNFRCに帰属して います。また、NFRCは、当該インデックスの正確性、完全性、信頼性、有用性を保証するものではなく、ファンドの運用成果等に関して一切責任を負うものではありませ

2.ファンドの内容

種別配分

組入比率の比較とベンチマーク収益率 (2025年1月末)

	種別		ファンド※1	ペンチマーク	ベンチマーク収益率
玉		債	66.0%	84.9%	-0.7%
地	方	債	13.1%	5.9%	-0.7%
政	保	債	0.0%	1.2%	-0.7%
金	鬲虫	債	0.0%	0.3%	-0.4%
事	業	債	12.4%	6.1%	-0.6%
円	建外	債	4.4%	0.3%	-0.2%
M	3 S / A	вs	2.4%	1.2%	-0.9%
そ	の	他	1.8%		

※1 組入比率は債券及び投資信託の評価額合計に対する割合

外部委託運用会社

運用会社	運用スタイル	目標配分割合
ウエスタン・アセット・マネジ・メント	広範囲型	50.0%
アカットマネジ・ケットへいっ	広節囲型	50.0%

3. 運用状況

1月の国内債券相場は下落しました(NOMURA-BPI総合指数は前月末比0.7%下落)。こうした中、ラッセル・インベストメント日本債券ファンドⅢの基準 価額は前月末比0.6%下落しました。国内債券相場は、前半は米長期金利の上昇や日銀の追加利上げ観測等から下落しました。後半は米長期金利の低 下を受けて上昇する局面もありましたが、日銀の利上げ決定や物価見通しの引き上げ等を背景に下落して、最終的に前月末を下回る水準で月を終えまし

ラッセル・インベストメント外国債券ファンド皿(適格機関投資家限定) Aコース(為替ヘッジあり)/Bコース(為替ヘッジなし)

1. 運用成果

Aコース

設定日 2002年9月12日

			(2025年1月末)		
ファンド・ベン	ファンド・ベンチマーク騰落率				
	設定来	過去1年間	期初来		
ファンド	25.5%	-4.1%	-1.8%		
ヘ゛ンチマーク	27.7%	-2.6%	-1.4%		
	過去6ヵ月	過去3ヵ月	過去1ヵ月		
ファンド	-2.2%	-1.3%	0.3%		
ヘ゛ンチマーク	-1.5%	-0.6%	-0.0%		

Bコース

設定日 2002年9月12日

(2025年1月末)

ファンド・ベンチマーク騰落率				
	設定来	過去1年間	期初来	
ファンド	162.2%	4.1%	-0.2%	
ヘ゛ンチマーク	162.5%	6.1%	0.2%	
	過去6ヵ月	過去3ヵ月	過去1ヵ月	
ファンド	0.1%	-1.5%	-1.9%	
ヘ゛ンチマーク	1.9%	0.2%	-1.0%	

2.ファンドの内容

地域別配分

組入比率の比較とベンチマーク収益率 (2025年1月末)

地域			ペンチマー	ク収益率
地域	ファント _{※1}	ファンド※1 ベンチマーク	(ヘッジあり)	(ヘッジなし)
北米地域	57.1%	49.3%	0.2%	-1.0%
ユーロ地域	17.2%	29.5%	-0.4%	-1.3%
ユーロ除く欧州	7.4%	6.2%	0.3%	-1.3%
その他	18.3%	15.0%	0.1%	-0.6%

※1 組入比率は債券及び先物等の評価額合計に対する割合

ベンチマーク:Aコース:FTSE世界国債インデックス(除く日本、円ヘッジ・円ベース) Bコース:FTSE世界国債インデックス(除く日本、円ベース) FTSE世界国債インデックスは、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、世界主要国の国債の総合収益率を各市場 の時価総額で加重平均した債券インデックスです。当該インデックスのデータは、情報提供のみを目的としており、 FTSE Fixed Income LLCは、当該データの正確性および完全性を保証せず、またデータの誤謬、脱漏または遅延につ き何ら責任を負いません。当該インデックスに対する著作権等の知的財産その他一切の権利はFTSE Fixed Income LLCに帰属します

外部委託運用会社

運用会社 運用スタイル 目標配分割合 コルチェスター・グローバル・インヘースで マクロ・バリュー型 30.0% インサイト・インヘ・ストメント・マネジ・メント 広範囲型 インサイト・ノースアメリカ(再委託)(注)

(注) インサイト・インベストメント・マネジメントは、運用の指図にかかる権限の一部をインサイト・ノースアメリカに再委託しま

3. 運用状況

1月の海外債券相場は全体では上昇しました(FTSE世界国債インデックス(除く日本、円ベース)は円高のため前月末比1.0%下落)。こうした中、ラッセ ル・インベストメント外国債券ファンド面の基準価額はAコースで前月末比0.3%の上昇、Bコースで1.9%の下落となりました。海外債券相場は、米国で前半は堅調な経済指標等による早期利下げ観測の後退や、新政権の政策によるインフレ再燃懸念等を背景に下落しました。後半は米連邦準備制度理 事会(FRB)高官の発言やハイテク株の下落等を受けて上昇し、最終的に前月末を上回る水準で月を終えました。また、欧州は欧州中央銀行(ECB)が 利下げを決定したものの、ユーロ圏のインフレの再加速や堅調な株式相場等を背景に下落し、最終的に前月末を下回る水準で月を終えました。為替市場 では、米ドル/円相場は1.5%の円高、ユーロ/円相場は1.1%の円高となりました。

運用成果はラッセル・インベストメント日本債券ファンド皿(適格機関投資家限定)及び、ラッセル・インベストメント外国債券ファンド皿 Aコース(為替ヘッジあり)/Bコース(為替ヘッジなし)(適格機関投資家 限定)に関するもので、種別配分、地域別配分、外部委託運用会社、運用状況はラッセル・インベストメント日本債券マザ ・ファンド及び、ラッセル・インベストメント外国債券マザーファンドについての記述 です。運用成果は過去の実績であり、将来の結果をお約束するものではありません。また、運用成果は実際の投資家利回りとは異なります。ベンチマークの数字は各当該指数の実績を示すものであり、ファ ンドの実績或いは将来の成果を保証するものではありません。

- ・三菱UFJ MV20VA/MV40VA/MV80VAの主要投資対象である投資信託証券を運用しているラッセル・インベストメント株式会社からのデータ・コメントを原則としてそのまま掲載しています。 ・市況の変動等により方針通りの運用が行われない場合があります。 ・本資料は、三菱UFJアセットマネジメント株式会社が信頼できると判断した諸データに基づいて作成しましたが、その正確性、完全性を保証するものではありません。また、上記の実績・データ等は過去 のものであり、今後の成果を保証・約束するものではありません。

三菱UFJ MV20VA・三菱UFJ MV40VA・三菱UFJ MV80VA(適格機関投資家限定)

・投資型年金保険 アズユーライク(多機能付変額個人年金保険GF)は特別勘定で運用を行う商品です。特別勘定は投資信託を主な投資対象としていますが、当商品は投資信 託とは異なる商品です。

また、当資料に掲載されている投資信託の開示情報はあくまでも参考情報であり、ご契約者が直接投資信託を保有するものではありません。

- ・当資料は、生命保険契約の募集および当該投資信託の勧誘を目的としたものではありません。
- ・特別勘定が用いる投資信託の値動きは、特別勘定のユニットプライスの値動きとは異なります。ユニットプライス算出のためには、組み入れファンドの損益に、保険契約の異動等 に備えたキャッシュ・ポジション部分の損益、保険関係費用等を加味する必要があります。
- ・当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。
- ・当資料は、三菱UFJアセットマネジメント株式会社による運用報告を、東京海上日動あんしん生命保険株式会社より提供するものであり、当資料の内容に関して、東京海上日動 あんしん生命保険株式会社は一切責任を負いません。

三菱UFJ MV20/40/80VA(適格機関投資家限定)の主要投資対象である投資信託証券の運用会社リスト

ラッセル・インベストメント日本株式ファンドII (適格機関投資家限定)

ラッセル・インベストメント日本株式ファンドⅡ(適格機関投資家限定)の運用は ファミリーファンド方式で行い、下記のマザーファンドを主要投資対象とします。

くラッセル・インベストメント日本株式マザーファンドン

ラッセル・インベストメント日本株式マザーファンドは、国内の金融商品取引所に上場されている株式を主要投資対象とし、安定的にベンテマーク(TDPIX(配当込み))を上回らことを目最近に運用を行います。複数の運用スタイルと選用会社を指摘することにより、ファンド金体でリスクをコントロールしながら、超過数となり機停を目指します。グロース型、パリュース型、マナン・オンエンテン学などのご用用スタイルと打てな、超過数型の影響を心運用アロエスの影響と

グロース型 : アセットマネジメントOne(日本)(投資助言)

アセットマネジメントOneは、今後数年で大きな利益成長を遂げると考える企業に投資します。マクロ状況・投資家動向への理解が深く、ボトムアップでの銘柄選択 に加えて、ボートフォリオ構築のエッセンスになっています。なお、アセットマネジメントOneの投資動雲に基づき、ラッセル・インベストメント・インブリメンテーション・サービシーズが運用の指図を行います。

グロース型 : ポリマー・キャピタル・ジャパン(ケイマン)(投資助言)

がリマーは、運用担当者自身が行うボトムアップの銘柄リサーチにより、市場平均を上回る本質的な成長を生み出すことができる企業の特定に重点を置き、中小型 株の高成長の機会の表現とともに、大選性もあったビジネス、産業、市場の循環性の見極の・評価を活かしたポートフォリオ運搬を行います。なお、ポリマーの投資 助賞に基づき、ファルル・インベルント・インブリンテーブコン・サービン・ブル運用が開送で行います。

パリュー型: SOMPOアセットマネジメント(日本)(投資助言)

SOMPOは、「ノーマル収益力」(企業の本質的かつ恒常的な収益力)という概念をベースにした中長期ファンダメンタルスに基づく役責価値を、配当割引モデルを ペースにした独自のバリュエーションモデルで算出し、割安度の高い報解を中心に投資します。最格な先期規格を持ち、目標体能を達成した銘柄は速やかに売却します。なお、SOMPOの投資制度に基づき、ラッセルペンスポントルインブリンテーション・サービン・スが運用の耐酸を行います。

パリュー型 : ラッセル・インベストメント・インプリメンテーション・サービシーズ(米国)

ラッセル・インベストメント・インプリメンテーション・サービシーズは、要託会社が必要と判断した場合にマザーファンドの一部について運用を行います。当該部分に おいては、低PBR(株価純資産倍率)銘柄を中心としたポートフォリオ(ディーブ・パリュー)を構築することにより、ファンドの低PBR特性を精強します。

マーケット・オリエンテッド型: スパークス・アセット・マネジメント(日本)(投資助言)

スパークスは、高い技術力やブランド力があり、グローバルでの活躍が今後も期待できる企業に投資します。 銘柄を翻述するため、保存格例は少数に扱られ、非常 に集中したポートフォリオとなります。 なお、スパークスの投資物富に基づき、ラッセル・インベストメント・インブリメンテーション・サービシーズが運用の指図を行いま

マーケット・オリエンテッド型: M&Gインペストメンツ(米国)(投資助言)

MAGIは、ファンダメンタルズ分析に基づく作トムアップでの投資対象銘柄の選定を行っており、個々の企業にとって最も重要なKP(重要集積評価指標)の特定、現で の機能と未価値とのギャップの要因の特定を選見します。また、シナリオ分析に基づ4橋度の高い収益予想に注かすることによって投資機値度を高めることが可能である。投資管学の下、以スク管理を適切に行いながら、起過収益値度度の高い銘柄群でリスクをとるボートフォリオ構築を志向しています。なお、MAGの投資 助富に基づき、フッセル・インベストメント・インプリメンテーション・サービン・アンボールの場の発力を行います。

ポートフォリオ特性補強型: ラッセル・インペストメント・インプリメンテーション・サービシーズ(米国)

ラッセル・インベストメント・インブリメンテーション・サービンーズは、要託会社が必要と判断した場合にマザーファンドの一部について運用を行います。当該部分に おいては、規用している他の運用会社の運用組織の特徴を活かしながら、マザーファン全体としてのボートフォリオ特性を構造するために必要なファクター(バ リューやウオリティ、モンシム、低ポラティリティ、高距当など)の運用を行います。

ラッセル・インベストメント外国株式ファンドⅡ(適格機関投資家限定)

ラッセル・インベストメント外国株式ファンド II (適格機関投資家限定)の運用は ファミリーファンド方式で行い、下記のマザーファンドを主要投資対象とします。

<ラッセル・インベストメント外国株式マザーファンド>

5ッセル・インベストメント外国株式でザーファンドは、日本を除く世界先進各国の市場において取引されている株式を主要投資対象とし、安定的にベンチマや庁・ MSCI KOKISA(配当込み))を上回ることを目載として運用を行います。グロース起、パリュー型、マーケットオリエンテッド型などの異なる運用スタイル 最大社を最進な影響で組み合わせ、超過磁性の温泉や運用プロセスの分数を図りつつ、超速数をへの東酸皮が高、線体展光において、各運用会社の特性を激

グロース型 パインストーン・アセット・マネジメント(カナダ)(投資助言)

・インストーンは、ROIC(役下資本料基率)やROE(自己資本利益率)、EVA(競泳的付加価値)を重視して、高クオリティで合理的なパリュエーションを備えた成 版性の高い販病を作んよアプアプローチで選別します。また、アンケダンクリルズ分析では、企業の持っ返争力か与人原意、経営簿の資などを重視します。なお・ インストーンの投資商店(基づき、プラセル・インストメント・インプリメンテーション・サービン・エグ振用の利润を行います。

グロース型 モルガン・スタンレー・インベストメント・マネジメント(米国)(投資助言)

Eルガン・スタンレーは、ROIC(役下資本利益率)やフリーキャッシュフローに着目し、長期的な視点から、独自の競争力を持ち、成長性が期待できる銘柄を選別します。ペンママーウはあまり返職せず、前側国株式を含め、比較的銘柄版を絞ったボートフォリケを構造します。なお、モルガン・スタンレーの投資助言に基づき、テッセルインベストン・インブルンテーシュン・サービン・インが連回の制度であった。

パリュー型 サンダース・キャピタル(米国)(投資助言)

サンダースは、グローバルな視点から投資テーマを的確に踏まえて個別銘柄を分析し、当該企業の持つ本質的企業価値に対して大きく割安であると判断する銘柄 も選別します。なお、サンダースの投資助言に基づき、ラッセル・インベストメント・インプリメンテーション・サービシーズが運用の指図を行います。

パリュー型 プジーナ・インベストメント・マネジメント(米国)(投資助言)

プジーナは、各セクターに精通した社内アナリストが官の高い水トムアップ・リサーチを行い、収益・ハリュエーションの低下が一時的な要因か構造的な要因かを見場り、一時的な要因が解析された他に収益力・バリュエーションの回復が解析される新術・比較することで高い超過収益の機構を目指します。なお、プジーナの投資の言によって、ランピル・インスプルメーク・メーション・サービン・インが漫画の知識を行います。

マーケット・オリエンテッド型 ニューメリック・インベスターズ(米国)(投資助言)

ニューメリックは、運用モデルの開発に優れたリサーチ接管や経験豊富で展表なポートフォリオ・オージャーを構造しており、パリュエーション、乗積予想修正、棒価 モメッタよ物の有効なファクケーをパランス鬼(的領に渡える運用モデルを活用して、超過収益の獲得を目指します。なお、ニューメリックの投資助富に基づき、ラッセルインスポース・レース・フェン・サービン・スが運用の指数を行います。

ポートフォリオ特件補強型

ハーニックストメント・インプリメンテーション・サービシーズ(米国)
ラッセル・インベストメント・インプリメンテーション・サービシーズ(米国)
ラッセル・インベストメント・インプリメンテーション・サービシーズは、乗託会社が必要と判断した場合にマザーファントの一部について運用を行います。当該部分に おいては、採用している他の運用会社の運用報節の特徴を活かしながら、マザーファント全体としてのボートフォリオ特性を検索するために必要なファクター(バリューやウオリア・モメンタム、低ポライリア・ス国記とはど)の運用を行います。

ラッセル・インベストメント日本債券ファンドⅢ(適格機関投資家限定)

ラッセル・インベストメント日本債券ファンドⅢ(適格機関投資家限定)の運用は ファミリーファンド方式で行い、下記のマザーファンドを主要投資対象とします。

くラッセル・インベストメント日本債券マザーファンド>

ラッセル・インベストメント日本債券マザーファンドは、日本の市場において取引されている企社債を主要投資対象とし、安定的ニベンチマーク(NOMURA-BPI総合 指数) を上回ることを目標として運用を行います。複数の運用を社を提用することにより。金利予測、満期構成、債券増別選択、個別銘柄選択といった債券運用における経過収益の服金を雇用しては ける経過収益の最後と毎月プロセスの対象を扱い。リスケモントロールはより発達収益の機合を目化ます。

広節囲型

ウエスタン・アセット・マネジメント(日本)

ウエスタンは、グローバルに展開する信券特化型の運用会社です。デュレーション(金利感応度) 戦略やイールドカーブ(利回り曲線) 戦略などの金利戦略において は、グローバルな視野と高い調査者力を活かし、マクロ経済から議略関係まで構成が合析により投資を行います。また、クレジル戦略においては、同社が有するグ ローバルなグレンが選査体制を主が、レスゴイ信等のセグター戦略点などの影響が振音振光を含みたしています。

広範囲型

アセットマネジメントOne(日本)

アセットマネジメントOneは金利、クレジット/セクターの周載館において、安定した超過収益の接得を目指します。金利戦略部分では、投資家行動や需給分析に強 みがあり、その分析能力を基に場めて短期的なポジションを機動的に数多く取ることで、起源収益の指み上げを図ります。クレジットセクター戦略部分では、カンジ トプナノルンが支援、全量周囲から機能な使用力分除を行い、ボーレフォリア・オーラン・から解析施設提供でいまっまっまっまった。投資ユニーバースの底定にも機能的で

ラッセル・インベストメント外国債券ファンドⅢ Aコース(為替ヘッジあり)/ Bコース(為替ヘッジなし)(適格機関投資家限定)

ラッセル・インベストメント外国債券ファンドⅢ Aコース(為替ヘッジあり) / Bコース(為替ヘッジなし) (適格機関投資家限定)の連用はファミリーファンド方式で行い、 下記のマザーファントを主要投資対象とします。

<ラッセル・インベストメント外国債券マザーファンド>

5ッセル・インベストメント外国債券マザーファンドは、日本を除く世界先進各国の市場において取引されている公社債を主要投資対象とし、安定的にベンチマーク [FISE世界国債インデックス(除く日本、円ペース))を上回ることを目標として選用を行います。当ファンドの大部分は国債や、高い格付けの債券に投資されます。 複数の運用会社を採用することにより、金利予測、満期構成、債券種別進択、国別配分、通貨配分、個別銘柄選択といった債券運用における超過収益の源泉や運 帯プロセスの分配を図り、リスタをコントロールしながら退避収益の債得を目指します。

ベビーファンドのベンチマークはそれぞれ下記の通りです。 Aコース(為替ヘッジあり): FTSE世界国債インデックス(除く日本、円ヘッジ・円ベース) Bコース(為替ヘッジなし): FTSE世界国債インデックス(除く日本、円ベース) Aコースは原則として為替ヘッジ、選用会社:ラッセル・イベストンル・インブリメンテーション・サービシーズ) を行い、為替変動リスクの低減を図ります。Bコースは原則として為替ヘッジを行いません。

マクロ・パリュー型

コルチェスター・グローパル・インベスターズ(英国)

コルチェスターの運用スタイルは、各国の経済情勢や財政の確全性などのマクロ分析を通じて、相対的に高いグターンが見込める、割安感の強い国の債券および 温度を発調するというものです。割安であるからかの判断は、実質を刺や購買力平価などを予測する同社独自の定量モデルを用いて行われ、この結果に定性制 新を加味するとにより国別よび通貨の配合が分类されます。

広節囲形

インサイト・インペストメント・マネジメント(英国)/インサイト・ノースアメリカ(米国)(再委託)

インサイトは、特定の戦略に偏ることなく、国別配分、種別配分、通貨配分、個別解務選択といった。あらゆる超過収益源泉をかが一し、市場環境の変化に合わせて 条数に投資する運用能力を名しています。なお、インサイト・インベストメント・マネジメント(英国)は、運用の指図にかかる権限の一部をインサイト・ノースアメリカ (米国) に再長化ます。

- ・三菱UFJ MV20VA/MV40VA/MV80VAの主要投資対象である投資信託証券を運用しているラッセル・インベストメント株式会社からのデータ・コメントを原則としてそのまま掲載しています。
 ・市況の変動等により方針通りの運用が行われない場合があります。
 ・本資料は、三菱UFJアセットマネジメント株式会社が信頼できると判断した諸データに基づいて作成しましたが、その正確性、完全性を保証するものではありません。また、上記の実績・データ等は過去のものであり、今後の成果を保証・約束するものではありません。また、上記の実績・データ等は過去のものであり、今後の成果を保証・約束するものではありません。とろアラバの運用会社構成は、ラッセル・インベストメント・グループが行う運用会社調査に基づいた判断により変更される事があります。
 ・配当込みTOPIXとは、日本の株式市場を広範に網羅するとともに、投資対象としての機能性を有するマーケット・ベンチマークで、浮動株ベースの時価総額加重方式により算出される株価指数です。配当込みTOPIXには、日本の株式市場を広範に利羅するとともに、投資対象としての機能性を打きるマーケット・ベンチマークで、浮動株ベースの時価総額加重方式により算出される株価指数です。配当込みTOPIXに関するすべての権利・ノウ・ハウ及び配当込みTOPIXに係る標章又は商標に関するすべての権利はJPXが有します。
 ・MSCIコクサイ インデックスとは、MSCI Incが開発した株価指数で、日本を除く世界の先進国で構成されています。MSCIコクサイ インデックス(除く日本 円換算ベース 配当込み)を、MSCIコクサイインデックス(除く日本 円換算ベース 配当込み)を、MSCIコクサイインデックス(除く日本 円換算ベース 配当込み)を、MSCIコクサイインデックス(除く日本 円換算ベース 配当込み)を、他知的財産権はすててMSCI Inc.に帰属します。
 ・NOMURA BPI総合指数とは、野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社が発表しているわが国の代表的な債券バフォーマンスインデックスです。当該指数の知的財産権およびその他一切の権利は同社に帰属します。なお、同社は、当該指数の正確性、完全性、信頼性、有用性、市場性、商品性および適合性を保証するものではなく、当該指数を用いて運用されるファンドの運用成果等に関して一切責任を負いません。
 ・FTSE世界国債インデックス(除く日本、円へッジ・円ベース)ならびにFTSE世界国債インデックス(除く日本、円ペース)は、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した債券インデックスです。
 (注)各合成ペンチマークの計算にあたっては、三菱UFJアセットマネジメント株式会社において、ファンドにおける組入資産・為替の評価時点にあわせて計算を行います。

三菱 MRF (マネー・リザーブ・ファンド)

- ・投資型年金保険 アズユーライク(多機能付変額個人年金保険GF)は特別勘定で運用を行う商品です。特別勘定は投資信託を主な投資対象としていますが、当商品は投資信託とは異なる商品です。
- また、当資料に掲載されている投資信託の開示情報はあくまでも参考情報であり、ご契約者が直接投資信託を保有するものではありません。
- ・当資料は、生命保険契約の募集および当該投資信託の勧誘を目的としたものではありません。
- ・特別勘定が用いる投資信託の値動きは、特別勘定のユニットプライスの値動きとは異なります。ユニットプライス算出のためには、組み入れファンドの損益に、保険契約の異動等に備えたキャッシュ・ポジション部分の損益、保険関係費用等を加味する必要があります。
- ・当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。
- ・当資料は、三菱UFJアセットマネジメント株式会社による運用報告を、東京海上日動あんしん生命保険株式会社より提供するものであり、当資料の内容に関して、東京海上日動あんしん生命保険株式会社は一切責任を負いません。

■商品概要

- ・信用度が高く、残存期間の短い内外の公社債およびコマーシャル・ペーパーを中心に投資し、安定した収益の確保をめざして 安定運用を行います。
- ・毎日決算を行い運用の実績に応じて分配します。
- ・収益分配金は、毎月まとめて再投資されます。

■ファンド概況

基準価額(1	万口当たり)	10,000円	
純資産総額		571.85億円	
設定日	2000年6月5日		
信託期間	無期限		
決算日	毎日		
信託報酬	年1%以内	(1/31現在	年 0.0000%)

■資産構成

価金額(円)	比率
2,499,498,561	4.4%
(2,499,498,561)	4.4%
(0)	0.0%
55,185,348,397	96.5%
26,788,000,000)	46.8%
(0)	0.0%
(0)	0.0%
28,397,348,397)	49.7%
(0)	0.0%
-499,448,160	-0.9%
7,185,398,798	100.0%
	(2,499,498,561) (0) 55,185,348,397 26,788,000,000) (0) (0) (28,397,348,397) (0)

[•]固定債:変動利付債以外の債券。

■7日間平均利回り(年率換算)の推移(直近3ヵ月)



■ポートフォリオ特性

平均残存日数 4.4日

■組入資産の種類別残高および組入比率

	11. ***		—————————————————————————————————————		
区分 	比率 -	3カ月以内	6カ月以内	1年以内	1年超
国債証券	4.4%	3.5%	0.9%	0.0%	0.0%
地方債証券	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
特殊債証券(除く金融債券)	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
金融債券	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
普通社債券	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
コールローン	46.8%	46.8%	0.0%	0.0%	0.0%
CD	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
CP	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
現先・レポ	49.7%	49.7%	0.0%	0.0%	0.0%
割引手形	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
その他資産	-0.9%	-0.9%	0.0%	0.0%	0.0%
合計	100.0%	99.1%	0.9%	0.0%	0.0%

[・]本資料は、三菱UFJアセットマネジメント株式会社が信頼できると判断した諸データに基づいて作成しましたが、その正確性、完全性を保証するものではありません。また、上記の実績・データ等は過去のものであり、今後の成果を保証・約束するものではありません。・表示桁未満の数値がある場合、四捨五入しています。・平均残存日数は、組入銘柄の純資産総額に対する比率で加重平均しています。変動利付債の残存日数は、次回利払日までとして計算しています。・特殊債証券とは独立行政法人、公庫等の政府関係機関等、いわゆる特殊法人や特殊団体が特別の法律に基づいて発行する債券の総称です。・その他資産は、指定金銭信託、未収金、未払金等。・原則として、比率は純資産総額に対する割合です。・比率は経過利子等を債券時価に含まず算出しております。

ご負担いただく費用について

この商品にかかる費用の合計額は、下記「保険関係費用」、「資産運用関係費用」の合計額となります(ただし、特約を付加した場合や一定期間の解約等には別途「特定の取引のご契約者にご負担頂く費用」がかかりますのでご注意ください)。

●運用期間中の費用(すべてのご契約者にご負担いただく費用)

項目	内容	費用
保険関係費用 (保険契約管理費)	当保険の新契約成立および維持管理等に必要な費用	特別勘定の純資産総額に対して年率1.65%
資産運用関係費用* (資産運用管理費)	特別勘定の運用に係る費用 (詳しくは、「特別勘定の内容」をご覧ください)	特別勘定の投資対象となる投資信託の純資産総額 に対して上限年率1.352%(税込)程度

^{*} 資産運用関係費用は、主に利用する投資信託の信託報酬率を記載しています。信託報酬の他、監査報酬、信託事務の諸費用、有価証券の売買 委託手数料および消費税等の税金等がかかりますが、費用の発生前に金額や計算方法を確定することが困難なため表示することができません。 また、これらの費用は投資信託の純資産総額より差し引かれます。したがってご契約者さまはこれらの費用を間接的に負担することになります。 なお、資産運用関係費用は、運用手法の変更等により将来変更される可能性があります。

●ご契約の内容と取引の内容による費用(特定の取引のご契約者にご負担いただく費用)

項目	内容	費用
年金原資保証特約	特約を付加した場合	基本保険金額に対して年率0.70%程度
年金原資加算特約	特約を付加した場合	基本保険金額に対して年率1.00%程度
積立金移転費用	1保険年度12回を超える積立金の移転の際	1保険年度13回以上の移転の際1回あたり1,000円
貸付利息	契約者貸付を受けたとき	貸付金額に対して年率1.65%
解約控除	解約したとき	積立金額に対して7%~2%(経過年数に応じて)

●年金受取期間中の費用(将来、以下の内容が変更になることがあります)

項目	内容	費用
保険関係費用 (年金管理費)		年金額に対して1.0%以内 (毎年の年金支払日に責任準備金から控除します)

投資リスクについて

この商品は、国内外の株式・債券等で運用しており、運用実績が保険金額や積立金額・将来の年金額などの増減につながるため、 高い収益が期待できる反面、株価や債券価格の下落、為替の変動等により、積立金額、解約払戻金額は払込保険料を下回ることが あり、損失が生じるおそれがあります。これらのリスクは、ご契約者に帰属することになりますので十分にご注意ください。 また、積立金の移転を行った際には、選択した特別勘定の種類によっては投資リスクが異なることとなりますのでご注意ください。

ご注意いただきたい事項

- ■「投資型年金保険 アズユーライク(多機能付変額個人年金保険GF)」は東京海上日動あんしん生命保険株式会社を引受保険会社とする生命保険(変額個人年金保険)です。
- ■「投資型年金保険 アズユーライク(多機能付変額個人年金保険GF)」には投資リスクがあり、投資リスクはご契約者に帰属します。 場合によっては将来お受け取りになる金額が、払込保険料総額を下回る可能性があります。

商品の内容に関しては「ご契約のしおり・約款」、「特別勘定のしおり」等をご覧ください。

【募集代理店】	【引受保険会社】
	東京海上日動あんしん生命保険株式会社 ホームページ https://www.tmn-anshin.co.jp/
	ご契約内容・各種手続きに関するお問合せ 〇〇。0120-155-730
	受付時間 平日 9:00~17:00 (土曜・日曜・祝日・年末年始を除きます。)